

者輸送計画表(180) / 勤労者輸送計画(183) / 供出炭砒労務者ノ受入炭砒別数調(185) / 樺太釧路転換勤労者受入数調(187) / 勤労者輸送計画表(189) / 樺太釧路整理炭砒勤労者転出先調(193) / 労務状況調(196)

⑨ 徴用関係 (昭和19年)

朝鮮人労務者内地送出改善強化概要(昭和19年10月12日)(201) / 朝鮮人労務者内地送出方法ノ強化ニ関スル件(219) / 内地送出半島勤労者ノ援護実施細目(227) / 移入朝鮮人労務者ノ災害事故取扱要綱(238) / 移入朝鮮人労務者殉職ニ関スル件(248) / 移入朝鮮人労務者定着勸奨並ニ家族慰問実施要綱(252) / 昭和一九年度契約期間満了朝鮮人労務者月別調(257) / 朝鮮側トノ折衝措置計画案(258) / 移入朝鮮人労務者一時帰鮮取扱措置要綱案(262) / 昭和一九年度満期帰郷朝鮮人労務者数支部別一括表(265) / 昭和一九年度満期帰郷朝鮮人労務者数調(昭和19年3月)(266) / 朝鮮勤労管理委員会規程(270) / 極秘文書受領票(273) / 移入朝鮮人労務者ノ契約期間延長ニ関スル件(昭和19年4月26日)(274) / 昭和一九年度ニ於ル満期移入朝鮮人労務者契約期間延長指導要綱(昭和19年3月27日)(276) / 移入朝鮮人労務者定着指導委員会設置要項(278) / 移入朝鮮人労務者定着対策(282) / 朝鮮人労務者募集要綱(285) / 労務動員実施計画ニ依ル朝鮮人労務者ノ内地移入斡旋要綱(290) / 朝鮮人労務者内地移入要領案(319) 他

⑩ 石炭鉱業労務ニ関スル提出書類 (昭和17年11月1日)

戦時下強制連行極秘資料集

白 休止炭燬

(1) 樺太

(1) 千尋 北小澤 小原内 宇別

(4) 釧路

(4) 尺別 浦碑 本岐 別原 雄別

(主トシテ皆播區域ヲ除ク)

(3) 保坑炭燬

(1) 樺太 火燬

(1) 塔路 太平 西柳丹

(4) 釧路

(3) 雄探 雄別 (主トシテ皆播區域)

(4) 維持炭燬

樺太ニ在リテハ炭止、休止、保坑炭燬ヲ除クノ外全炭燬

炭燬ニ整理炭燬ニヨリ炭燬者種換數ガ概ネ左ノ通りトス

(1) 樺太

(1) 内地勸業者

3,000名

(4) 半島勸業者

3,000名

(1) 季節労働者

1,000名 (努力目標) 予入替

(2) 荷役労働者(季節)

3,000名

(4) 釧路

(1) 内地勸業者

3,000名 (内1,000名ハ努力目標)

(4) 半島勸業者

3,000名

(備考)

前二項中努力目標ハ更ニ諸員ノモリヲモ含ミ之ガ増加ニ努ムルモ

ノトス

合計

3,000名

合計

3,000名



樺太及釧路ニ於ケル炭礦勸業者、資材等ノ急遽轉換實施要綱(草案)

八月十一日閣議決定「樺太及釧路ニ於ケル炭礦勸業者、資材等ノ急遽轉換

ニ關スル件」ハ本要綱ニ依リ之ヲ實施ス

第一 炭燬ノ整理ハ左ノ區分ニ依ル

一 廢止炭燬

政府ニ於テ其ノ鑛業權、設備及資材ノ一切ヲ買收シ事業ヲ廢止セシム

ルモノトス。

二 休止炭燬

政府ニ於テ其ノ鑛業權ヲ除キ轉換付能ナル設備及資材ノ一切ヲ買收ス

ルト共ニ所要ノ補償ヲ行ヒ事業ヲ休止セシムルモノトス

三 保坑炭燬

政府ニ於テ所要ノ補償ヲ行ヒ炭燬ノ保坑ヲ行ハシムルモノトス

四 維持炭燬

現狀通り事業ヲ繼續セシムルモノトス

第三 炭燬整理ニ依ル勸業者(専務及技術職員ヲ含ム)ノ轉出ハ原則トシ

テ左記ニ依ル

(一) 廢止炭燬ニ於テハ女子ヲ除クノ外全員トス

(二) 休止炭燬ニ於テハ女子ヲ除クノ外全員トス

(三) 保坑炭燬ニ於テハ保坑要員トシテ概本一割乃至二割ヲ選留セシムル

ノ外全員トス

ニ 整理炭燬ハ左ノ通りトス

(一) 廢止炭燬

(1) 樺太

上塔路 白鳥澤 諸津 三福 名好 豊畑 奥南

(4) 釧路

白檜

第五 整理炭祿ニヨル轉出者ノ轉換先左表ノ通豫定ス

帶太	内地	3,000	常磐向	1,500	九州向	1,500	九州互向	1,500	北海道役向	1,000	九州荷荷
九〇〇〇	半島	3,000	三〇〇	1,600	1,000						
	内地季節	1,000	1,000								
	季節荷役	2,000							1,000		1,000
劍路	内地	3,000	150	2,850							
六〇〇〇	半島	3,000		3,000							
合計		13,000	3,000	4,400	3,500	1,000	1,000	1,000			

(備考)

(一) 具体的轉換先ノ選定ニ付テハ整理炭貯備ノ希望、受入炭貯備ニ於ケル賃金、食糧等ノ事情ヲ勘案シ一部ヲ北海道(石狩地區)

殘留セシムルコトアルモノトス

(一) 北海道荷役向、九州荷役向ハ地方行政協議會長ヲシテ機動的ニ運用セシメ之ヲ石炭關係作業ニ從事セシム

第六 轉出勸誘者ニハ轉出ニ際シ到着後直チニ作業ヲ爲シ得ル如ク左記物件ヲ携行セシム

(一) 寢具、日用身廻品、作業衣、地下足袋、シヨベル、ヌヨツヅ、坑内帽、ギヤツヅランヅ、同電池一式、ピツ夕又ハギヤツヅハンヤ、撥板(カツキヤ)等、檢定器、其他從來各自使用セル日常作業用具等

(二) 當面ノ出炭上緊急ヲ要スルモノト認ムル資材ニシテ携行可能ナルモノ

第七 轉出勤勞者ノ輸送經路ハ別途之ヲ定ム

第八 轉出者ノ給與等ニ關シテハ昭和十八年六月一日閣定「企業整備ニ伴フ從業者措置要綱」(爾後改訂セラレタルモノナル場合ハ之ヲ含ム)ニ據リ之ヲ處理スルヲ原則トス

第九 政府ニ於テ買收スベキ鑛業權、設備及資材ハ樺太ニ在リテハ樺太石炭株式會社、釧路ニ在リテハ日本石炭株式會社ヲシテ之ヲ買收セシム

樺太石炭株式會社又ハ日本石炭株式會社ハ必要ニ應ジ前項以外ノ設備及資材ニツキテモ之ヲ買收スルコトヲ得ルモノトス
此ノ場合ニ於テハ第十(2)及(4)ノ減價償却費ハ之ヲ樺炭又ハ日炭ニ交付スルモノトス

前二項ニ要スル資金ハ政府ニ於テ適時迅速ニ斡旋スルト共ニ其ノ金利ヲ補償ス

第十 炭礦整理ニ伴フ補償ニ關シテハ左ニ依ルノ外ニ關係町村部落ニ

對シ所要ノ補償ヲ爲スモノトシ之ガ措置ハ昭和十九年度第二豫備金及豫算外契約ヲ以テ措置スルモノトス

(一) 事業ノ廢止、休止又ハ保坑ヲ爲ス炭礦ニツイテハ左ノ區分ニ依リ政府ニ於テ之レヲ措置スルコト

(1) 廢止炭礦ニツイテハ鑛區、土地、建物及設備費ヲ補償スルモノトシ其ノ評價ニ際シテハ利用シ得ベキ轉換設備ノ價值ヲ考慮スルコト

(2) 休止炭礦ニツイテハ休止ニ因リ通常生ズベキ損失(投下資本ニ對スル金利及利潤並ニ坑道ノ減失又ハ毀損ニ因ル損失)及殘存設備ニ對スル減價償却費ヲ補償スルコト

(3) 保坑炭礦ニツイテハ排水費、保坑費、投下資本ニ對スル金利及利潤並ニ殘存設備ニ對スル減價償却費ヲ補償スルコト

- 第一、急速戦力化ノ本旨ニ從ヒ力メテ爾後處理ニヨル等極力事務手續ヲ簡易ナラシムル如ク措置スルコト
- 第二、移動ニ伴フ梱包資材ニツキテハ急速確保ノ措置ヲ講ズルコト
- 第三、「樺太及釧路ニ於ケル炭礦勤勞者資材等ノ急速轉換實施要綱」
- 第六ニヨル携行物件或ニ緊急資材ニツキテハ勤勞者ト共ニ一括輸送セシムルコトトシ其他設備裝置機械等ハ別途計費ヲナシ勤勞者ノ轉換ト競合セザル様ヲ留意スルコト
- 第四、緊急資材ニツキテハ受入炭礦ヨリ至急整理炭礦宛希望ヲ連絡セシムルコト
- 第五、緊急資材以外ハ左ニ依リ措置スルコト
 - (一) 石炭統制會ハ整理炭礦ノ八月末現在設備差置、機械器具或ニ貯蔵品ノ數量及價格ノ調査ヲ九月十日迄ニ收スルコト
 - 尙統制會ハ期日ヲ定メ受入炭礦ヨリ携行物件緊急資材ヲモ加ヘ入荷物件ノ報告ヲ徴スルコト
 - (二) 設備裝置機械器具ノ收外ノ作業並ニ輸送ノ圓滑ヲ期スル爲同一系統ノ炭礦ニ對シ優先轉用ヲ認ムルコト
 - (三) 貯蔵品ノ内火藥類、カノバイド、セメント坑木ハ炭礦ニ轉用スルモノトシ其ノ他ハ前項ニヨリ同一系統炭礦ニ對シ優先轉用ヲ認ムルコト

(四) 前二項優先轉用ヲ爲シタルモノト雖モ他ノ炭礦ニ緊急需要アル場合ハ之ヲ轉用シ得ルモノトスルコト

(五) 同一系統ナキ炭礦ノ各種資材ニ付キテハ燃料周竝ニ石炭統制會ニ於テ至急轉用先炭礦リ決定スルコト

第六、急速戦力化ノ爲メノ配置轉換ノ本旨ニ鑑ミ撤去或ニ輸送業務ハ極力地元勞務ヲ以テ當ラシメ今次勤勞者轉出ニ支障ナカラシム可ク措置スルコト

第七、撤去費ハ整理炭礦ニ於テ負擔ナサシムルモノトス

第八、樺太石炭又ハ日本石炭株式會社ハ整理炭礦ノ資材設備機械類ヲ一括購入スルモノトシ急速轉換實施要綱第九及第十二ヨリ之レヲ措置ス

第九、受入炭礦ニ於ケル勤勞者住宅用資材ニツキテハ特ニ急速確保ノ措置ヲ講ズ可キコト

第一〇、食糧、生活必需物資、作業用物資、資材等ニツキテハ勤勞者ノ移動ニ伴ヒ至急配當調整ヲナスコト
(參考) 目下内地炭礦ニ於ケル要緊急資材概ネ左ノ如シ

一、緊急機器

壓縮機、ポンプ、捲揚機、エンドレス機、鑿岩機、各種電動機
安全燈、炭車、電氣機關車、切羽用諸機械

二、緊急資材

筒管類、鋼索、中空鋼、電線類、機械油、レール

第一

勤勞者（事務及技術職員ヲ含ム）ノ離散防止

勤勞者ノ離散ヲ防止スルタメ未ダ勞務調整令第二條ノ指定ナキモノニ付テハ同條ノ指定ヲ爲スト共ニ警察當局ニ於テ逃走防止ノ措置ヲ講ズルコト

第二

勤勞者ノ配置轉換

(一) 勤勞者ハ政府ノ定ムル轉換先ニ可及的範圍的ニ配置轉換スルコト但シ右轉換先ノ決定ニ付テハ企業系統、作業條件等特殊事情ヲ考慮スルコト

(二) 受入炭礦ハ^{社務}勤勞者ノ住宅施設等ニ付萬遺憾ナキヲ期スルコト

(三) 地方鐵山局ハ轉換先炭礦ヲシテ左ノ事項ニ留意ノ上勤勞管理ノ適正ヲ期セシムルコト

(四) 轉換勤勞者ハ國策ニ協力シ轉換シタルモノナルニ付其ノ心情竝ニ立場ヲ充分理解シ處遇上遺憾ナキヲ期スルコト

(五) 特ニ整理炭礦ニ於テ修得シタル技能等ヲ尊重シ之ヲ活用シ得

ルガ如キ職場ニ配置スルコト

(六) 社宅等ニ付テハ可成集團的ニ居住セシムル等從來ノ地縁的關係ヲ考慮スルコト

第三 給與關係

(一) 廢休止炭礦轉換勤勞者ニ對スル給與ハ當該炭礦出發ノ日迄ハ廢休止炭礦ニ於テ負擔シ爾後ハ受入炭礦側ニ於テ支給スルコト

(二) 廢休止炭礦勤勞者ニ對シ原則トシテ法令ニ基ク手當ノ外別ニ定ムル特別解雇手當ヲ支給スルコト
一、予當手當十四日
二、退職手當
三、特別退職手當
四、特別手當
右特別解雇手當ハ政府ニ於テ之ヲ補償ス

(三) 整理炭礦ハ其管理セル勤勞者ノ貯蓄金ヲ轉換先事業主へ通帳ヲ以テ移管スルコト

(四) 轉換勤勞者並ニ家族ノ移動旅費(日當及荷造費ヲ含ム)ハ受入炭礦ニ於テ之ヲ支給シ聯對中ノ食糧並ニ轉居用梱包資材ハ整理炭礦側ニ於テ理物支給スルコト

(五) 受入炭礦ニ於ケル轉換勤勞者ノ賃金給與額ハ受入炭礦ノ給與規

前月收ト豫定月收トノ差額中國民徵用援護會ニ於テ補給シ得ザル額ニ付テハ向一ケ年間石炭統制會ニ於テ之レヲ補給セシムルコト但シ補給ニツキテハ國家之レヲ補償スルコト

付テハ治癒スル迄整理炭礦ニ於テ充分手當ヲ爲スコト

(七) 道府縣廳ハ轉換勤勞者ノ厚生年金保險法及健康保險法ノ取扱ニ付テハ同一ノ事業場ニ於テ引續キ被保險者タル者ト看做シテ之ヲ處理スルコト 存心ニ其旨を印し三月ノハハノ手當ヲ付す

第四 應召入營中ノ勤勞者並ニ家族ニ對スル措置

(一) 應召入營中ノ勤勞者並ニ家族ノ轉換ハ左ニ依ルモノトス

(1) 整理炭礦ヨリ受入炭礦ニ業因移動スル場合ハ當該受入炭礦之ヲ繼承スルコト

(2) 整理炭礦ヨリ二以上ノ炭礦ニ分散轉換スル場合ニ於テハ轉換勤勞者ノ員數ニ按分シテ受入炭礦ヲシテ繼承セシムルコト

(3) 轉換先炭礦ノ選定ニ付テハ家族(本人ト連絡シ得ル場合ハ本人)ノ希望ヲ尊重スルコト

(4) 受入炭礦ハ應召入營中ノ勤勞者ニ對シ整理炭礦ト同一ノ應召手當ヲ支給スルコト尙右勤勞者ノ家族ノ移動ニ付テハ第三ノ(四)ニ依ルコト

(5) 厚生年金保險法及健康保險法ノ取扱ハ第三ノ(七)ニ依ルコト
(二) 應召入營者ノ家族ニシテ受入指示炭礦ニ轉換セザルモノニ對シテハ整理炭礦ハ應召入營ノ時切 扶養家族ノ有無等ニ基キ別ニ定ムル特別手當ヲ支給スルコト
右特別手當ハ政府ニ於テ之ヲ補償ス

昭和十九年九月廿五日

河文。仙台出張所、西部支部、總務部、宇部出張所、新潟

副 務 部 長

轉換勞務省燃草支給代金支拂ノ件

引記ノ件ニ關シ左記ノ通り燃草代金送附款シタルニ付キ可及的速力ニ
 指算ノ上燃草費額算付殘額代金返却セラルレ度
 此

給與地	政社給與個數	燃草送附金額	訂正個數	金額	差引追送金	送金先
仙台	二七〇六	八一八	七〇二	一一〇六	一	仙台出張所
大阪	八二〇	二四六	一四八四〇	一四四四二	四二〇六	西部支部
名古屋	一	一	四四〇〇	一五二〇	一三二〇	
宇部	八二〇	二四六	九八四〇	三九五二	二七〇六	宇部出張所
新潟	二五〇〇	七五〇	二五〇〇	七五〇	一	新潟

但シ金鶏一個二十三錢ナルモ燃草費特許キ場合ヲ考慮シ一個三十錢
 ノ額ニテ送附セシモノナリ

期	夕	期	夕	期	夕	期	夕	期	夕	期	夕	期	夕	期	夕	合計
26	14,200	1,2960	12,960	12,960	25,350	12,330	12,330	12,330	12,330	12,330	12,330	12,330	12,330	12,330	12,330	1,770
27	2,490	K-1	820	820	K-1	1,640	820	K-1	820	820	K-1	820	820	820	820	4,350 (注イ)
28	2,310	K-2	890	890	W-1	1,660	830	K-1	820	830	W-1	830	830	830	830	
29	2,400	K-3	890	890	W-2	1,780	890	K-2	890	890	W-2	890	890	890	890	
30	2,490	K-4	890	890	W-3	1,780	890	K-3	890	890	W-3	890	890	890	890	
31	2,490	K-5	890	890	W-4	1,780	890	K-4	890	890	W-4	890	890	890	890	
1	2,490	K-6	890	890	W-5	1,780	890	K-5	890	890	W-5	890	890	890	890	
2	2,490	K-7	890	890	W-6	1,780	890	K-6	890	890	W-6	890	890	890	890	
3	2,490	K-8	890	890	W-7	1,780	890	K-7	890	890	W-7	890	890	890	890	
4	2,490	K-9	890	890	W-8	1,780	890	K-8	890	890	W-8	890	890	890	890	
5	2,490	K-10	890	890	W-9	1,780	890	K-9	890	890	W-9	890	890	890	890	
6	2,490	K-11	890	890	W-10	1,780	890	K-10	890	890	W-10	890	890	890	890	
7	2,490	K-12	890	890	W-11	1,780	890	K-11	890	890	W-11	890	890	890	890	
8	2,490	K-13	890	890	W-12	1,780	890	K-12	890	890	W-12	890	890	890	890	
9	2,490	K-14	890	890	W-13	1,780	890	K-13	890	890	W-13	890	890	890	890	
10	2,490	K-15	890	890	W-14	1,780	890	K-14	890	890	W-14	890	890	890	890	
11	2,490	K-16	890	890	W-15	1,780	890	K-15	890	890	W-15	890	890	890	890	
12	2,490	K-17	890	890	W-16	1,780	890	K-16	890	890	W-16	890	890	890	890	
13	2,490	K-18	890	890	W-17	1,780	890	K-17	890	890	W-17	890	890	890	890	
14	2,490	K-19	890	890	W-18	1,780	890	K-18	890	890	W-18	890	890	890	890	
15	2,490	K-20	890	890	W-19	1,780	890	K-19	890	890	W-19	890	890	890	890	
16	2,490	K-21	890	890	W-20	1,780	890	K-20	890	890	W-20	890	890	890	890	
17	2,490	K-22	890	890	W-21	1,780	890	K-21	890	890	W-21	890	890	890	890	
18	2,490	K-23	890	890	W-22	1,780	890	K-22	890	890	W-22	890	890	890	890	
19	2,490	K-24	890	890	W-23	1,780	890	K-23	890	890	W-23	890	890	890	890	
20	2,490	K-25	890	890	W-24	1,780	890	K-24	890	890	W-24	890	890	890	890	
21	2,490	K-26	890	890	W-25	1,780	890	K-25	890	890	W-25	890	890	890	890	
22	2,490	K-27	890	890	W-26	1,780	890	K-26	890	890	W-26	890	890	890	890	
23	2,490	K-28	890	890	W-27	1,780	890	K-27	890	890	W-27	890	890	890	890	
24	2,490	K-29	890	890	W-28	1,780	890	K-28	890	890	W-28	890	890	890	890	
25	2,490	K-30	890	890	W-29	1,780	890	K-29	890	890	W-29	890	890	890	890	
26	2,490	K-31	890	890	W-30	1,780	890	K-30	890	890	W-30	890	890	890	890	

運 搬	出 港 日	船 名	運 出 船 頭	運 出 勤 勞 者 數		附 添	家 族	乘 船 計	受 入 乘 船	到 着 港	入 港 日	到 着 日
				男 員	女 員							
9	9	白 龍	上 豐 港 大 白 龍	43	72				五 輪 山 崎 好 高	新 潟	9/13	磯 原 高 川 平
10	9	白 龍	上 豐 港 大 白 龍	20	27				五 輪 山 崎 好 高	新 潟	9/15	磯 原 高 川 平
11	9	白 龍	上 豐 港 大 白 龍	145	25				五 輪 山 崎 好 高	新 潟		磯 原 高 川 平
11	9	白 龍	上 豐 港 大 白 龍	167	22				五 輪 山 崎 好 高	新 潟		磯 原 高 川 平
11	9	白 龍	上 豐 港 大 白 龍	132	11				五 輪 山 崎 好 高	新 潟		磯 原 高 川 平
11	9	白 龍	上 豐 港 大 白 龍	51	9				五 輪 山 崎 好 高	新 潟		磯 原 高 川 平
11	9	白 龍	上 豐 港 大 白 龍	119	1				五 輪 山 崎 好 高	新 潟		磯 原 高 川 平
11	9	白 龍	上 豐 港 大 白 龍	90	47				五 輪 山 崎 好 高	新 潟		磯 原 高 川 平
11	9	白 龍	上 豐 港 大 白 龍	66	49				五 輪 山 崎 好 高	新 潟		磯 原 高 川 平
11	9	白 龍	上 豐 港 大 白 龍	98	2				五 輪 山 崎 好 高	新 潟		磯 原 高 川 平
12	9	白 龍	上 豐 港 大 白 龍	392	5		70		五 輪 山 崎 好 高	新 潟	9/15	小 室 新 江
12	9	白 龍	上 豐 港 大 白 龍	319	3				五 輪 山 崎 好 高	新 潟		小 室 新 江
12	9	白 龍	上 豐 港 大 白 龍	90	16				五 輪 山 崎 好 高	新 潟		小 室 新 江
12	9	白 龍	上 豐 港 大 白 龍	359	7				五 輪 山 崎 好 高	新 潟	9/17	小 室 新 江
12	9	白 龍	上 豐 港 大 白 龍	90	7				五 輪 山 崎 好 高	新 潟		小 室 新 江

勤 勞 者 檢 査 計 畫 要 要 (9月8日迄實績)

運 搬	出 港 日	船 名	運 出 船 頭	運 出 勤 勞 者 數		附 添	家 族	乘 船 計	受 入 乘 船	到 着 港	入 港 日	到 着 日
				男 員	女 員							
2	8	白 龍	大 塔 小 龍	622	134				大 塔 小 龍	新 潟	8/25	佐 世 保
2	8	白 龍	大 塔 小 龍	500	174				大 塔 小 龍	新 潟	8/25	佐 世 保
3	8	白 龍	大 塔 小 龍	396	145				大 塔 小 龍	新 潟	8/26	佐 世 保
3	8	白 龍	大 塔 小 龍	248	248				大 塔 小 龍	新 潟	8/26	佐 世 保
4	8	白 龍	大 塔 小 龍	100	50				大 塔 小 龍	新 潟	8/26	佐 世 保
4	8	白 龍	大 塔 小 龍	199	8				大 塔 小 龍	新 潟	8/26	佐 世 保
5	9	白 龍	大 塔 小 龍	304	134				大 塔 小 龍	新 潟	9/3	佐 世 保
5	9	白 龍	大 塔 小 龍	308	134				大 塔 小 龍	新 潟	9/3	佐 世 保
5	9	白 龍	大 塔 小 龍	198	204				大 塔 小 龍	新 潟	9/3	佐 世 保
6	9	白 龍	大 塔 小 龍	380	66				大 塔 小 龍	新 潟	9/3	佐 世 保
6	9	白 龍	大 塔 小 龍	308	196				大 塔 小 龍	新 潟	9/3	佐 世 保
7	9	白 龍	大 塔 小 龍	51	3				大 塔 小 龍	新 潟	9/3	佐 世 保
7	9	白 龍	大 塔 小 龍	248	1				大 塔 小 龍	新 潟	9/3	佐 世 保
7	9	白 龍	大 塔 小 龍	30	4				大 塔 小 龍	新 潟	9/3	佐 世 保
7	9	白 龍	大 塔 小 龍	356	2				大 塔 小 龍	新 潟	9/3	佐 世 保
7	9	白 龍	大 塔 小 龍	27	148				大 塔 小 龍	新 潟	9/3	佐 世 保
7	9	白 龍	大 塔 小 龍	42	3				大 塔 小 龍	新 潟	9/3	佐 世 保

1926

勸 勞 者 輸 送 計 畫

樺太廳現地案

出發日	船名	出發港	轉出炭礦	轉出勸勞者數			受入炭礦	乘船人員	到着港	備	考
				內地	朝鮮	職員					
8 25	亞 庭	庭慈須取	平 塔 平 塔 平 塔	9	500	(2) 3	大 崎 高	島 戶 島	831	雅 內	(內)ヘ引卒者ニシテ 歸郷スルモノ
8 26	白 龍	"	荷 役 兼 者	6	174	1	函	館	588	小 樽	
8 27	亞 庭	"	大 上 上 西 塔 丹	396	149	(3) 4	高 嘉 山	松 稔 野	400	雅 內	
8 30	間 宮	"	上 上 塔 丹	100	248	2	中 館 內	野 島 檜	102	357	
8 31	亞 庭	"	西 橋 安 別	300	125	4	山 二		204		
				125	135	3			128		
				135		3			138		

表 3

便數	出港日	船名	轉出炭礦	轉出勸勞者數			計	附 添	家族	乘船人員	受入炭礦	到着港	入港日	到着地
				內地	朝鮮	職員								
13	9 22	白 龍	大 上 上 西 塔 丹	1	140	22	162		663	勿 赤 湯 田 上 諸	來 井 綴 川 田 所 各 山 形 製 間	新 瀧	9 26	來 井 本 灘 勿 赤 湯 溫 平
14	9 23	間 宮	北 荷 役 勞 務 者 平 南 畑 塔 丹	3	89	6	96		355	小 勿 赤 湯 田 上 諸	來 井 綴 川 田 所 各 山 形 製 間		9 27	邊 平 本 川 邊 平
				40	143	1	148							
				59	50	5	64							
				30	50	3	53							
				67	67	11	78							
				93	93	2	102							
				7	7	3	102							

供出炭礦勞務者ノ受入炭額別款目

() 半島人ノ内数ナ

	合 計	安 別	興 南	西 丹	豐 烟	名 好	北 小	諸 津	三 野	白 島	塔 路	上 橋	太 平
磐 城	600				150		200				30	100	100
好 間	200										50		150
勿 來	150												150
日 曹 赤 井	80		81										
隅 田 川	80										30		
小 田	130		130										
上 山 田	100									100			
田 州	90				90								
柳 形	80					80							
高 萩	300				130				170				
重 内	50									50			
中 郷 無 煙	100									100			
山 口	60							60					
國 本	70				70								
上 田	70				70						30	40	
山 一	70				70								
崎 戶	1590											370	
高 島	895												
大 島	130												130
山 野	370												
二 瀬	270												
平 山	290											70	
高 松	390												370
喜 穂	180											180	
目 尾	273												35
三 他	450												
總 計	7000												

出 産 地	炭 種	出 産 額	出 産 額	出 産 額	出 産 額	出 産 額	出 産 額	出 産 額	出 産 額	出 産 額	出 産 額	出 産 額	出 産 額
磐 城	031	021	021	021	021	021	021	021	021	021	021	021	021
好 間	031	021	021	021	021	021	021	021	021	021	021	021	021
勿 來	031	021	021	021	021	021	021	021	021	021	021	021	021
日 曹 赤 井	031	021	021	021	021	021	021	021	021	021	021	021	021
隅 田 川	031	021	021	021	021	021	021	021	021	021	021	021	021
小 田	031	021	021	021	021	021	021	021	021	021	021	021	021
上 山 田	031	021	021	021	021	021	021	021	021	021	021	021	021
田 州	031	021	021	021	021	021	021	021	021	021	021	021	021
柳 形	031	021	021	021	021	021	021	021	021	021	021	021	021
高 萩	031	021	021	021	021	021	021	021	021	021	021	021	021
重 内	031	021	021	021	021	021	021	021	021	021	021	021	021
中 郷 無 煙	031	021	021	021	021	021	021	021	021	021	021	021	021
山 口	031	021	021	021	021	021	021	021	021	021	021	021	021
國 本	031	021	021	021	021	021	021	021	021	021	021	021	021
上 田	031	021	021	021	021	021	021	021	021	021	021	021	021
山 一	031	021	021	021	021	021	021	021	021	021	021	021	021
崎 戶	031	021	021	021	021	021	021	021	021	021	021	021	021
高 島	031	021	021	021	021	021	021	021	021	021	021	021	021
大 島	031	021	021	021	021	021	021	021	021	021	021	021	021
山 野	031	021	021	021	021	021	021	021	021	021	021	021	021
二 瀬	031	021	021	021	021	021	021	021	021	021	021	021	021
平 山	031	021	021	021	021	021	021	021	021	021	021	021	021
高 松	031	021	021	021	021	021	021	021	021	021	021	021	021
喜 穂	031	021	021	021	021	021	021	021	021	021	021	021	021
目 尾	031	021	021	021	021	021	021	021	021	021	021	021	021
三 他	031	021	021	021	021	021	021	021	021	021	021	021	021
總 計	031	021	021	021	021	021	021	021	021	021	021	021	021

174 頁内ノ人数ハ ()

極秘

樺太釧路輕換勤勞者受入波調

石炭統制會東部支部

入山日	受入炭種	受入人員					家族	轉出炭種
		內地	朝鮮	小計	職員	計		
9 4	中推無道	109		109	5	105		上塔路
	常 繁	249		249	11	260		
9 14	小 田		149	149	0	155		上塔路
	上 田	45		45	7	52		
	肉本	27		27		27		上塔路
	倉門	43		43	6	49		上塔路
	山本		72	72		72		
	櫛形	20	27	47	25	72		上塔路
	好間	151		151	3	154		上塔路
9 15	高 萩	171		171	3	174		上塔路
	山口	130		130	11	141		上塔路
	山 川	81	22	73	9	82		上塔路
9 20	小 田	167		167	14	181		上塔路
	赤 井	2		2	4	6		上塔路
9 27	好 間	52		52	5	57		上塔路
	川 一	50		50	3	53		上塔路
	山 本	85		85	9	94		上塔路
	櫛形				3	3		上塔路
	田 本	113		113	10	123		上塔路
9 28	高 萩	83		83	20	103		上塔路
		95		95	3	98		上塔路
		140		140	2	142		上塔路
					1	1		上塔路
	赤 井	87		87	6	93		上塔路
	上 田				5	5		上塔路
	小 田				1	1		上塔路
	高 萩	10		10	6	16		上塔路
	勿 來	2		2	5	7		上塔路
		140		140	5	145		上塔路
					1	1		上塔路
	計	1999	343	2340	217	2557	303	
炭種別	常 繁	527		527	66	611		
受入数	好 間	197		197	(5)	212		
	勿 來	140		140	(7)	153		
	赤 井	89		89	8	97	175	
	小 田	50		50	2	54		
	上 田		149	149	7	156	125	
	山 本	283		283	(3)	307	5	
	櫛形				(2)	2		
	田 本				(3)	3		
	野 田				(2)	2		
	高 萩	106	27	133	34	167		
	倉門	513		513	(3)	356		
	中 山	43		43	6	49		
	山 上	100		100	5	105		
	山 上	54	22	73	9	82		
	上 田	72	53	73	3	76		
	上 田	72		72	7	79		
	計	1999	343	2340	(25)232	(25)257	303	

備考 1 構形炭種勞務者一名途中新潟ニ於テ心臓麻痺ノタメ病死ス
 2 公好ヨリ職員(25)名繰込後決定セルモノ()ニテ内数ナリ

極秘

出港日	船名	出役港	轉出炭種	轉出炭種者數	受入炭種	乘船人員	積港	入港日	出役日時	到着日時	備 考
1 2 23	白 龍	函 館	上塔路	600	炭種炭種	600	小樽	2 22	2 26	3 1	小樽・宮内人員未定
2 2 25	藍 龍	函 館	上塔路	520	炭種炭種	520	小樽	2 26	2 30	3 1	
2 15-00			上塔路	130	炭種炭種	130	小樽	8-00	8-00	14-00	
3 2 22			上塔路	180	炭種炭種	180	小樽	8-00	8-00	14-00	
3 15-00			上塔路	393	炭種炭種	393	小樽	8-00	8-00	14-00	
4 2 26			上塔路	150	炭種炭種	150	小樽	8-00	8-00	14-00	
5 2 31			上塔路	200	炭種炭種	200	小樽	8-00	8-00	14-00	
5 15-00			上塔路	100	炭種炭種	100	小樽	8-00	8-00	14-00	
6 2 2			上塔路	50	炭種炭種	50	小樽	8-00	8-00	14-00	
6 15-00			上塔路	100	炭種炭種	100	小樽	8-00	8-00	14-00	
7 2 4			上塔路	200	炭種炭種	200	小樽	8-00	8-00	14-00	
7 15-00			上塔路	50	炭種炭種	50	小樽	8-00	8-00	14-00	
8 2 2			上塔路	50	炭種炭種	50	小樽	8-00	8-00	14-00	

動 勞 者 輸 送 計 畫 表

樺太 4

出日發時	出發驛	轉炭	出礦	轉出新勞者數		受炭人	乘車人員	到着驛	到着時	備要
				內地	朝鮮計					
I 2 25 17-30	釧路	保別	春探	350	350	三池	520	直方	8月30日 8-00	
				470	470	三池		大牟田	8-30	
				200	200	三池		直方	8-00	2 1
				200	200	上山田		直方 690人	8-00	
II 2 27 17-30	釧路	保別	春探	290	290	探出	890	博多	9-00	
				200	200	勝出		直方	9-00	
				410	410	新入		直方	9-00	
III 2 31 17-30	釧路	保別	春探	430	430	方城	890	直方	9-00	
				50	50	赤池		直方	9-00	
IV 2 2 17-30	釧路	保別	春探	450	450	三池	870	直方	9-00	
				100	100	赤池		直方	9-00	
V 2 6	釧路	保別	春探	820	820	三池	870	大牟田	9-11 12-00	

様太 2.

出日	船名	出發港	轉出炭	賣田新勞者數		受入炭	乘車人員	到着港	入港日	出港日時	到着驛	到着日時	備要
				內地	朝鮮計								
9 2 15-00	亞庭	志須取	塔上塔路	100	100	塔上塔路	830	雅內	2 2	2 2	佐世保	2 14-00	保員計 320人 常務員 510人
				450	450	高島		雅內	2 18-00				
				170	170	池		新海	2 16-00				
				130	130	形		平	2 16-00				
10 2 10	間宮	志須取	塔上塔路	60	60	山口	440	雅內	2 10	2 10	平	2 16-30	
				60	60	池		雅內	2 18-00				
				230	230	池		大牟田	2 18-00				
				280	280	池		折尾	2 18-00				
11 2 12 15-00	亞庭	志須取	塔上塔路	400	400	池	680	雅內	2 12	2 12	折尾	2 18-00	一部變更ノルコトナリ
				150	150	池		雅內	2 18-00				
				100	100	池		平	2 18-00				
				150	150	池		平	2 18-00				
12 2 14 15-00	亞庭	志須取	塔上塔路	90	90	池	590	新海	2 14	2 14	平	2 18-00	一部變更ノルコトナリ
				100	100	池		新海	2 18-00				
				100	100	池		平	2 18-00				
				150	150	池		平	2 18-00				
13 2 20	白龍	志須取	塔上塔路	80	80	井		新海	2 20	2 20	平	2 22-00	
				50	50	井		新海	2 22-00				
				100	100	井		平	2 22-00				
				100	100	井		平	2 22-00				
14 2 22	間宮	志須取	塔上塔路	120	120	池	450	新海	2 22	2 22	平	2 30	120人
				100	100	池		新海	2 30				
				100	100	池		平	2 30				
				100	100	池		平	2 30				
合計				4530	3000	6530						換定人員9000人ノ感 530人増加セリ 員ヲ見込 282人ナリ	

極秘

權大 鋼路 整理 炭礦 勤勞者 轉出 先關

炭礦名	現在者數	系統會社名	轉出數	轉出先		炭礦名	受入數	系統會社名	受入員數	地區
				①	②					
上塔路	855	鐵淵工業株式會社	700 (180)	⑤ 50 ⑦ 100 ⑧ 370 (180)	① ②	警城長會	600 200	常磐炭礦株式會社 古河鐵業株式會社	4,302 2,222	常
白鳥潭	582	權大鐵業株式會社	485 (315)	③ 170 ④ 315 (315)	③ ④	勿來	150 80	大日本炭礦株式會社 日曹鐵業株式會社	1,905 634	常
津	154	諸津炭業株式會社	130 (50)	② 80 ⑤ 50 (50)	⑤ ⑥	隅田川	50 (130)	隅田川鐵業株式會社 厚城炭礦株式會社	733 1,324	常
三關	102	佐竹 喜一郎	80 (20)	⑥ 60 ⑦ 20 (20)	⑦ ⑧	王城第三 上山田	100	王城炭礦株式會社 大昭鐵業株式會社	503	常
名	414	南津大鐵業株式會社	345 (215)	③ 130 ④ 215 (215)	⑨ ⑩	小ノ田 平		戶部鐵業株式會社 日曹鐵業株式會社		常
如	456	豊如炭礦株式會社	380 (140)	① 150 ⑦ 70 (90) ⑧ 90 ⑨ 70 (90) ⑩ 120	⑪ ⑫	田川 形	90 80	東亞鐵工株式會社 東邦炭礦株式會社	1,806 667	常

鋼路 2

出發時	出發路	轉炭	出源	轉出勤勞者數		受炭	入礦	乘車人員	到着	到日	着時	備要
				內地	朝鮮							
9. 8 17-30	鋼路	雄	雄別	810		610	飯塚 新入	860	直方	9. 13	8-00	
		尺	尺別	100		100	飯塚 新入					
		浦	浦幌	150		150	飯塚 新入					
		本	本岐	90	30	120	飯塚 新入					
		際	際路	210		210	飯塚 新入					
		係	係員	50		50	飯塚 新入					
9. 14 17-30	鋼路	白	白根	180		180	飯塚 新入	230	直方	9. 15	7-15	係員50人共230人
		保	保別	100		100	飯塚 新入					
		孫	孫別	150		150	飯塚 新入					
		合	合計	3,560		3,000	飯塚 新入					
												定員4,060人 定員500人增加 係員7名以ミタリ

炭種名	現存数量	系統會社名	備出性	轉出先	轉出先	炭種名	受入数	系統會社名	受入員数
白	276	東亞精工株式会社	180	② 180	② 180	川	180	東亞精工株式会社	1986
別	1337	太平洋炭礦株式会社	970 (350)	③ 970 (350)	③ 970 (350)	池	970	三井岡山株式会社	2155
尺	1047	三井岡山株式会社	780 (410)	③ 780 (410)	③ 780 (410)	川	970	三井岡山株式会社	12625
備	905	同上	870 (430)	③ 870 (430)	③ 870 (430)	池	200	三井岡山株式会社	4325
本	204	明治白炭株式会社	120 (30)	③ 120 (30)	③ 120 (30)	池	200	同上	3348
本	2278	太平洋炭礦株式会社	6280 (470)	③ 6280 (470)	③ 6280 (470)	池	200	同上	4623
本	2204	三井岡山株式会社	1500 (80)	③ 1500 (80)	③ 1500 (80)	池	670	同上	2518
本	819	明治白炭株式会社	530 (320)	③ 530 (320)	③ 530 (320)	池	670	同上	4049
計	9084		6080 (2900)			池	1380	同上	5366
						計	4980		1816

() 中島人ノ内数ナリ

樽太鋼路整理炭種動勞者轉出先調

炭種名	現在数量	系統會社名	轉出数	轉出先	炭種名	受入数	系統會社名	受入員数
真	246	東亞精工株式会社	210 (130)	④ 80 ⑤ 130 (130)	高	300	高炭炭礦株式会社	1759
平		三井岡山株式会社			内	50	高内炭礦株式会社	911
北	6340	樽太石炭鐵道株式会社	1070 (410)	① 100 ② 870 (410)	常	100	常野炭礦株式会社	1053
小					山	60	山口炭礦株式会社	674
西	1036	三井岡山株式会社	820 (370)	③ 450 ④ 370 (370)	上	70	日本炭礦株式会社	300
安	398	日鐵製鐵株式会社	340 (130)	⑤ 160 ⑥ 180 (130)	池	18	上田炭一所有	249
坪	2150	樽太石炭鐵道株式会社	1520 (520)	⑦ 100 ⑧ 520 (520)	山	2368	山一炭礦株式会社	23047
大	1325	樽太石炭鐵道株式会社	920 (520)	⑨ 150 ⑩ 370 (390)	池	370	三井岡山株式会社	8303
四		三井岡山株式会社			池	1338	同上	5602
計	9000		9000 (3000)		池	1088		1835

種別	月	在籍延人員	月	在籍延人員	延率	管内		管内		管内		計	管内		計
						出	入	出	入	出	入		出	入	
—	12	1,233,366	1,088,600	88	5,078	0.41	48	36	—	—	—	84	198	—	196
—	11	828,899	608,766	82	3,380	0.40	34	28	—	—	—	69	175	—	185
—	10	344,667	279,555	81	2,276	0.64	78	39	—	—	—	117	74	—	148
—	9	1,623,599	1,448,800	95	11,539	0.75	43	31	—	—	—	74	141	—	246
—	8	85,771	60,835	70	5,576	0.65	45	45	—	—	—	92	48	—	269
—	7	2,944,111	2,608,222	88	20,100	0.68	3	14	—	—	—	17	—	—	—
—	6	3,366,611	2,882,222	85	22,300	0.66	64	43	—	—	—	107	320	—	499
—	5	2,038,822	1,744,444	85	9,239	0.45	29	57	—	—	—	86	76	—	138
—	4	771,180	678,823	87	66,300	0.72	27	44	—	—	—	73	—	—	—
—	3	4,128,866	3,071,616	74	17,576	0.42	121	100	—	—	—	239	504	—	1,207
—	2	32,711	23,186	70	31,322	0.95	158	92	—	—	—	246	562	—	855
—	1	1,554	1,697	110	—	—	7	16	—	—	—	24	302	—	508
—	12	1,058,844	708,666	66	6,600	0.62	24	19	—	—	—	43	6	—	8
—	11	444,444	353,777	80	6,945	0.70	52	38	—	—	—	92	17	—	24
—	10	98,288	99,995	101	22,000	0.56	11	11	—	—	—	22	87	—	14
—	9	4,094,644	3,056,666	82	8,388	0.45	82	84	—	—	—	167	214	—	87
—	8	1,944,644	1,637,373	89	8,388	0.45	111	78	—	—	—	190	25	—	437
—	7	1,692,222	1,396,666	82	9,400	0.55	38	17	—	—	—	56	35	—	129
—	6	9,775	8,465	96	7,177	0.81	45	46	—	—	—	93	63	—	161
—	5	12,495	11,058	88	5,314	0.42	21	11	—	—	—	32	—	—	145
—	4	11,280	8,363	75	6,826	0.60	42	36	—	—	—	78	—	—	12
—	3	12,259	3,449	44	4,220	0.36	42	57	—	—	—	84	30	—	39
—	2	66,164	5,995,449	73	31,655	0.41	85	37	—	—	—	499	201	—	458
—	1	4,335,222	3,348,666	77	26,950	0.62	89	41	—	—	—	123	50	—	105
計	12	53,911,111	43,777,776	81	322,371	0.60	1,618	1,354	—	—	—	5,007	3,145	—	5,904

※印ヲ含マズ

労働状況(七月)

業種	月	管内		延率	管内		延率	管内		延率	計	延率	管内	延率	計	延率
		出	入		出	入		出	入							
—	12	345	138	483	4	1	—	—	—	—	—	23	328	—	464	—
—	11	148	161	309	1	1	—	—	—	—	—	1	147	—	307	—
—	10	853	426	1,279	8	8	—	—	—	—	—	15	846	—	307	—
—	9	392	144	536	11	11	—	—	—	—	—	14	392	—	1,272	—
—	8	140	174	114	2	2	—	—	—	—	—	13	133	—	541	—
—	7	78	28	134	—	—	—	—	—	—	—	4	69	—	303	—
—	6	888	375	1,261	93	9	—	—	—	—	—	16	866	—	1,099	—
—	5	115	21	177	8	1	—	—	—	—	—	9	117	—	180	—
—	4	476	243	719	11	1	—	—	—	—	—	1	484	—	741	—
—	3	2,247	243	2,845	62	26	—	—	—	—	—	6	2,175	—	2,786	—
—	2	1,017	598	1,540	26	30	—	—	—	—	—	13	1,013	—	1,523	—
—	1	1,125	593	1,718	80	85	—	—	—	—	—	31	1,120	—	1,718	—
—	12	59	6	65	1	1	—	—	—	—	—	7	53	—	59	—
—	11	89	—	89	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	79	—
—	10	275	131	406	—	—	—	—	—	—	—	11	270	—	378	—
—	9	152	26	178	—	—	—	—	—	—	—	24	145	—	378	—
—	8	346	6	352	4	5	—	—	—	—	—	7	345	—	171	—
—	7	907	454	1,361	52	56	—	—	—	—	—	5	903	—	351	—
—	6	465	22	487	10	12	—	—	—	—	—	2	463	—	483	—
—	5	419	172	591	15	10	—	—	—	—	—	2	424	—	598	—
—	4	200	167	367	1	3	—	—	—	—	—	6	186	—	350	—
—	3	433	40	473	8	8	—	—	—	—	—	2	433	—	470	—
—	2	220	186	406	11	11	—	—	—	—	—	10	224	—	430	—
—	1	263	149	412	14	14	—	—	—	—	—	9	268	—	417	—
—	12	1,391	995	2,386	33	33	—	—	—	—	—	15	1,377	—	2,357	—
—	11	1095	424	1,569	14	14	—	—	—	—	—	62	1,069	—	1,543	—
—	10	14158	6200	20457	194	107	—	—	—	—	—	35	13,929	—	20,308	—
計	12	141,580	119	204,570	470	194	—	—	—	—	—	187,920	3,145	—	5,904	—

極秘

石炭總制會勤勞部 受入炭礦賃金

昭和七年(一九三二年)

石炭總制會勤勞部

礦	坑内夫(男)			坑外夫(男)		
	賃金	決限	計	賃金	決限	計
内郷	143	35	178	91	15	106
張	155	35	199	90	15	105
岡	166	35	201	82	15	97
來	137	35	172	69	15	84
曹赤井	135	35	170	74	15	89
田川	132	35	167	80	15	95
田	116	35	151	82	15	97
山田	134	35	169	72	15	87
川	145	35	180	86	15	101
形	106	35	141	62	15	77
萩	112	35	147	81	15	96
内	140	35	175	84	15	103
徳無煙	129	35	164	83	15	98
口	117	35	152	92	15	107
本	205	35	240	120	15	135
田	111	35	146	76	15	91
一	137	35	172	95	15	110

炭礦	坑内夫(男)			坑外夫(男)		
	賃金	決限	計	賃金	決限	計
崎戸	180	35	215	114	15	129
高島	133	35	168	94	15	109
大山	122	35	157	70	15	85
山	132	35	167	81	15	96
二平	109	35	144	96	15	111
高松	139	35	174	83	15	98
嘉穂	123	35	158	89	15	104
目尾	110	35	145	81	15	96
三池	127	35	162	81	15	96
田川	45	35	80	93	15	108
池田	135	35	170	93	15	108
上田	187	35	222	107	15	122
飯塚	159	35	194	84	15	99
勝田	147	35	182	80	15	95
新人	130	35	165	81	15	96
方城	131	35	166	82	15	97
赤池	118	35	153	72	15	87

極秘

工場及炭礦勞務賃金對照表

(石炭總制會勤勞部)

級	二十才未満				三十才未満				三十才以上				平均				
	均一時間賃金	均一時間賃金	均一時間賃金	均一時間賃金	均一時間賃金	均一時間賃金	均一時間賃金	均一時間賃金	均一時間賃金	均一時間賃金	均一時間賃金	均一時間賃金	均一時間賃金	均一時間賃金	均一時間賃金	均一時間賃金	
一級	237	259	5698	11.2	427	494	10917	11.6	221	508	599	14295	11.8	246	395	10436	
二級	192	213	5027	11.1	236	245	311	6447	12.7	206	423	541	11202	12.8	220	338	8284
三級	161	172	4180	10.7	243	244	329	7666	11.6	233	324	5021	11.4	245	276	309	
一級	149	172	3956	10.2	196	202	4504	12.3	223	207	217	5078	10.5	234	176	185	
二級	137	158	3460	11.6	219	193	207	4099	10.7	198	187	4291	11.2	234	155	158	
三級	124	124	3174	10.0	256	150	153	3565	10.2	233	175	4195	10.5	228	135	139	
海	264	322	7470	12.2	232	398	430	10661	10.8	248	406	11363	11.3	248	384	430	
北	234	253	5414	10.8	214	350	378	8210	10.8	218	382	378	99	235	362	384	
州	308	363	8422	11.8	232	401	433	9959	10.8	230	426	5435	10.2	229	380	406	
海	142	131	3367	11.7	257	148	178	4450	12.0	250	187	215	5440	11.5	253	124	146
北	132	117	8007	8.9	257	150	177	3894	11.8	220	183	210	4641	11.5	221	170	160
州	147	192	4378	11.5	228	203	219	5015	10.8	229	231	254	5191	11.0	228	210	235

(昭和七年、八月、二十五日)

本表ハ軍需省總制會勤勞課昭和七年九月作成工場礦山勞務者賃金統計ニ依リ
 一ノ統計ハ軍需省所管ノ賃金統計適合適用工場、重要事業場及費用實施工場ニ付昭和七年五月賃金台帳ヲ基
 二ノ統計ハ軍需省所管ノ賃金統計ニ依リ

угольная отрасль тихо испустила дух

А как у них?

Принято решение о закрытии с января 2002 года последней угольной шахты в Японии. Шесть «Таихэй», что в городе Куэиро на Хоккайдо, недолго пришлось носить титул «единственной в стране шахты». Дело в том, что в ноябре прошлого года была окончательно прекращена работа на шахте «Мацусима» в Нагасаки. И вот теперь настала очередь «Таихэй», история которой началась в 1920 году.

Считается, что первое месторождение каменного угля было обнаружено на острове Кюсю в 1469 году. Но активная разработка пластов началась лишь с конца XIX века, когда понадобилось топливо для паровозов и локомотивов. А звездным для угольщиков стал период с 1931 года, когда страна приступила к ускоренному на-

ращению вооружений и для домен потребовалось огромное количество угля. После поражения во второй мировой войне интерес к углю в Японии не снизился. Именно эта отрасль стала приоритетной в годы послевоенного восстановления экономики.

Начавшиеся в 1955 году поставки дешевой нефти из-за рубежа, казалось бы, подорвали все надежды угольщиков на будущее. Старо на намерение рентабельных шахт. Японские специалисты приступили к разработке проектов подземной каменного угля. Однако энергетический кризис 1973 года все повернул вспять. Оказавшись в условиях нехватки импортного горючего, Япония вновь обратилась

к своим шахтерам. Объемы добычи опять стали возрастать. В 1988 году в стране было добыто 11,2 млн. метрических тонн угля, хотя надо признать, что это лишь малая доля его ежегодного потребления. В том же году из-за рубежа (включая и Россию) было ввезено 101,2 млн. метрических тонн.

В последние годы конкурентоспособность каменного угля опять стала падать. В котельных его вытесняют газ, природный газ, электроэнергия. Для Японии, все более дефицитной в сырьевом отношении, угольный сектор — «тяжелый, неэкологичный и опасный угольный сектор экономики стал бельмом на глазу, тем более что импортный уголь теперь дешевле собственного. Начался процесс закрытия шахт по всей стране. И вот в ноябре 2001

года в строю осталась одна единственная — «Таихэй» на Хоккайдо. К окончательному решению судьбы шахты подготовлено трагическое событие. В начале 2001 года в шахте случился пожар. Пришлось прекратить немало средств на восстановление обрушенных и взорванных забоев. В результате по итогам года шахта понесла ущерб в 4,4 млрд. иен, а общий долг компании достиг 20 млрд. Ежегодный объем добычи снизился до 700 тыс. тонн, хотя в 1977 году он достигал 2,6 млн. тонн. Не выдержав финансовых неурядиц, компания «Таихэй» объявила о банкротстве.

Горючую пилотку все же удалось несколько подсластить. Решено, что на базе шахты «Таихэй» будет создан учебный центр, где японские горняки смогут

передавать накопленный опыт молодым инженерам из Китая и Вьетнама. На работе в учебном центре будет занято около 500 человек, но на шахте до последнего времени работало более 1000 шахтеров, что означает остальных? Хозяева закрывающейся шахты возлагают надежды на государственные субсидии. Национальный план закрытия нерентабельных угольных производств предусматривает выделение до 8 млн. иен на каждого уволенного горняка. Выплаты были рассчитаны по 2001 финансовый год включительно, заканчивающийся 31 марта 2002 года. Это и подтолкнуло администрацию шахты поспешить с радикальным решением.

Д. Т. (*Япония сегодня*). Москва.

(1) Второго徵用

ガダルカナル島、サイパン島がアメリカ軍の手に陥ち、日本は制空権はもちろんのこと、制海権も失いつつあった。

九四四年になると樺太から日本の内地へ送る石炭船の回航が困難になり、石炭を掘っても送れない状態となった。杉森（日本発送電）、南珍内（山下鉱業）、小田州（北越製紙）が廃鉱止むなきにいたった。

東南アジア方面への輸送のための船腹不足と、日本海へのアメリカ海軍潜水艦の出没で、樺太から石炭輸送は絶望的となった。

樺太転換坑夫

(1) 第二の徵用

ガダルカナル島、サイパン島がアメリカ軍の手に陥ち、日本は制空権はもちろんのこと、制海権も失いつつあった。

九四四年になると樺太から日本の内地へ送る石炭船の回航が困難になり、石炭を掘っても送れない状態となった。杉森（日本発送電）、南珍内（山下鉱業）、小田州（北越製紙）が廃鉱止むなきにいたった。

東南アジア方面への輸送のための船腹不足と、日本海へのアメリカ海軍潜水艦の出没で、樺太から石炭輸送は絶望的となった。

一九四四年八月十一日、閣議によって樺太の大部分と北海道の釧路炭田の休廃が決定した。藤原銀次郎軍需大臣は、樺太西海岸の炭鉱は、島内向けの九炭鉱を除いて一時閉鎖、その労働力と施設、資材を軍需産業地帯に最も近い、福島県の常磐、福岡県の筑豊、長崎県の崎戸、高島、端島、北海道の夕張炭鉱などに、集中的に配転することを決定した。これらの配転を「樺太転換坑夫」と呼んだ。

当時、樺太の稼働炭鉱は二十三鉱、保坑として西欄丹、太平、塔路など七炭鉱、閉鎖坑は北小沢、白鳥沢、土塔路、安別、豊畑などの西海岸の炭鉱が主だった。あまりにも急な国の石炭政策の転換のため、特に西海岸の炭鉱は大混乱を巻き起こした。坑夫たちは身の回りのものだけ携えて出発することになり、死された家族の不安は大きかった。坑夫七千三百五十四人、運搬夫千九百五十人、幹部三百四十七人が配転された。

主な転換先は、三井、日鉄系炭鉱からは筑豊、志免、三池、夕張へ、三菱系炭鉱は長崎県の崎戸、高島、端島へ行くことになった。民族の大移動に似た坑夫輸送のために、連絡船や貨物船などの特別配船があり、稚内、小樽、函館、青森へ向かった。

山元には坑内保安関係者と、野積みされた石炭の自然発火防止のための坑外夫が残されただけである。

もう一つ重要なことは、樺太転換坑夫として、内地の石炭山に配転されたわけではない。軍部の要求で、千島列島の飛行場建設に、彼ら大勢の朝鮮人を送り込んだ。彼らは飛行場工事が終わると、再び樺太の東海岸の内淵、川上炭鉱、国境の障地構築工事へと戻されているが、その正確な人数は分からない。

しても、交換する予備もありません。人間も必要ですが、合わせて資材もご相談できません。」「何だと？ お前は軍需省のやることに口出しするのか？！ 炭鉱はお前のところだけじゃない。そんなに勝手なことをぬかすなら、日本鉱業の四百人の割り当てを取り消してもいいぞ。ほかの炭鉱じゃ、一人でもいいから欲しいと頭を下げて来ているんだ。それに加えて資材までよこせとは、ちよつと虫が良すぎるではないか！」

すごい剣幕で伊藤栄一を怒鳴りつけた。伊藤栄一は八代海軍大佐に謝り、資材引き渡しの要求を取り下げた。八代大佐は軍需省の技術将校で、その権限からいえば、割り当て解消は簡単なことだった。太平炭鉱の協和会館に行くと、四百人はすでに集められていた。

「あなたたちは、ここで長く働いてもらったが、戦局の都合で九州にある日炭高松炭鉱で働いてもらうことになった。樺太と違って非常に温かいところだ。お国のため石炭増産に励んでもらいたい」

伊藤栄一が挨拶すると、太平炭鉱の労務係の朝鮮人が通訳した。四百人を十人単位の班に分け、渡された名簿と本人を照合した。

受け取る側の穂積隆重は、労務係と会って配転によって家族を残して行く坑夫たちが、どのように動揺しているかをわ



日炭高松炭鉱から坑夫受け取りに行った穂積隆重

内地の炭鉱と千島列島を合わせると、一万人以上が配転されたといわれている。実際にどのような方法で坑夫の受け取りが行われたのか、福岡県遠賀郡水巻町の日炭高松炭鉱の例を紹介しよう。

この炭鉱は日本鉱業系で、一九四四年当時、第一坑、第二坑、第三坑を合わせると約三千五百人の朝鮮人坑夫が働いていた。

軍需省と石炭統制会から、四百人の転換坑夫の枠が示された。日本鉱業東京本社の労務係長伊藤栄一（84歳）と、日炭遠賀炭業所労務係長穂積隆重（79歳）の二人が責任者となって、九月十日、樺太の太平炭鉱まで受け取りに行くことになった。その他に監視人として藤戸行雄と村石治、もう一人朝鮮巡査出身の労務係を同行した。

宗谷海峡に敵潜水艦出没の情報が入って、稚内で二日間足止めされ、三日目の朝出港した。大泊に着くと、翌朝、列車で八時間かかって敷香に着いた。敷香で一泊すると、翌朝、木炭バスで樺太中央山脈を越えて恵須取に着き、太平炭鉱のクラブに泊まった。

太平炭鉱は王子系の炭鉱で、恵須取から軽便鉄道で三十分のところにある。軍需省から派遣された八代海軍大佐、四百人の朝鮮人坑夫名簿を渡された。

伊藤栄一は、日本鉱業を出る時、社長から労務者だけでなく、資材も一緒に下げるを受けて来いと、命令を受けていた。

「八代へ法殿、炭鉱は労働力だけでなく、資材不足で困っています。機械が古くなって故障したり

東京に着くと、赤羽終由で品川の汐留貨物停車場に入った。窓の開閉は自由にしたが、デッキに出さないために、両方の出入口に座って監視した。ちよと静岡県の大井川の鉄橋を渡る頃、それを含図のように高山を中心にして、幹部クラスがカ所に集まって審談を始めた。

藤戸行雄と朝鮮巡査上りの労務係は、朝鮮語が分かるのでそっと聞き耳を立て、注意深く話を聞いた。彼らは二人が朝鮮語を話せるとは知らないで、別に警戒せずに脱走計画を打ち合わせた。穂積隆重のところにも、藤戸行雄が顔色を変えてやって来た。

「穂積さん、高山たちが脱走する話をしよりますばい」

「お前、それは大変じゃないか。せつかくここまで連れて来て、集団脱走でもされると責任問題だ。ちよと注意しとったほうがいいのじゃないか。少しは暑い、窓のシャッターを降ろさせろ。一体彼らはどういうとるんだ？」

「はい、私の聞く限りでは、炭鉱は危険だし、このままだと何時朝鮮に帰れるか分からない。樺太の家族のところに戻ろうじゃないかといっています。日炭に着くまでに列車が空襲でやられるから、名古屋辺りでいっせいに逃げようという計画をしています」

「そうか、早く行って止めさせろ」

穂積隆重は、朝鮮巡査をしていた労務係に耳打ちした。その労務係が、急いで高山隊長のところに行った。

しくたずねた。二年満期になった朝鮮人坑夫は、朝鮮から優先的に家族を呼び寄せ、炭住に住んでいると説明があった。九州へ坑夫を連れて行くことすれば、家族を置いて単身ということになる。受け取り側の炭鉱としては坑夫の配転のみで、家族の移送については全く考慮していなかった。

戦局が緊迫している関係で、家族呼び寄せは現実的には困難であった。

太平洋炭鉱を出発する日、所長から呼ばれた。

穂積隆重の叔父が、以前、太平洋炭鉱の所長をしたことがあった。

「穂積君。これは君だけの話だが、全員が日炭に無事に着くかどうかは、ここから行く労務係の高山君にかかっている。彼は半島人だがしっかりした男で、彼さえちやんと掴まえておれば、途中で逃亡することはないよ」

労務係の高山が隊長となって、引率して忠須取港に集まった。朝鮮人坑夫たちは風呂敷包み一つ程度、出征兵士を見送るように大勢の家族が埠頭で万歳を叫んだ。

伊藤栄一は、日本鉱業を代表して、集まった家族たちを前に、近いうちに必ず呼び寄せるからと挨拶した。結局、それは空約束となって、彼らは別れ別れになってしまった。

忠須取港から青森港に、まで、貨物船で二十四時間かかり、青函連絡船の埠頭からその列車に乗り込んだ。

特別仕立ての列車は、駅での停車が長く、その間を利用して国防婦人会のタスキを渡した白エプロンの婦人たちが、握りお茶を接待した。

妻子を樺太に置いて来た坑夫は、早く飯を呼び寄せる手紙を書いてくれと要求した。四年間帰国しなかった者は、濟州島の故郷に手紙を出させ、渡航費は炭鉱側で持つからと、家族を呼び寄せて炭住に住まわせた。

「濟州島の連中は反抗的というか、要求するにしても理路整然、筋がちゃんと通っていましたよ。一番困ったのは食糧問題で、内勤の労務係は農家を探し回り大変でした。」

食べ物が無いと悪いことをするから、できるだけ訓練所には置かないようにして入坑させました。濟州島から家族を呼び寄せると、今度は樺太に家族を残した者が騒ぎ出し、約束が違うというし、それをなだめるのに苦勞をしました。命が縮まる思いで、舎監になったばかりに十キロも痩せてしまいました。

九州に来るまでの交通費は、賃金の中から差し引かれ、彼らの自己負担となった。強制貯金、戦時国債、食事代、布団代を差し引くと、残りはわずかなものであったが、それを樺太に送ることで、彼らはやっと納得した。

「朝鮮半島といっても、濟州島の人間は差別されました。彼らと一緒に飯を食べんとか、一緒に入坑しないとか、その差別はひどいものでした。途中で朝鮮から強制連行された者と共同生活をしたが、どうしても嫌だといつてきかないんです。」

伊藤秋蔵は、樺太に残した家族を呼び寄せるように要求したが、労務課からは拒否された。だが、濟州島からの家族呼び寄せだけが実現した。それはあくまで金のかかることで、炭鉱側から見れば、

「高山、お前たちはそこで何を相談しているのだ、話していることは、こっちにはちゃんと分かっているんだ。逃走のことを画策しているのなら、場合によってはお前たちをこのまま憲兵隊に渡してもいいんだぞ！」

お前たちの配転は、単なる移動じゃないんだ。徴用令だということを忘れるな！」

その労務係が、突然、朝鮮語で叫んだ。

脱走計画がバレてしまい、高山隊長は真っ青な顔をして謝った。

鹿児島本線の折尾駅に下車すると、炭鉱から労務関係者が約五十人迎えに来て、ぐるっと周囲を取り巻いた。

転換坑夫たちは、日炭高松炭鉱の各訓練所に振り分けられ、第二坑の古賀訓練所には六十人が入所した。

彼らが収容される合宿所は、九州では朝鮮人寮、あるいは訓練所と呼んだ。朝鮮人寮の場合は寮長、訓練所の場合は舎監、仕事の内容は同じであった。

古賀訓練所は俘虜収容所のすぐ近くにあった。舎監の伊藤秋蔵（78歳）は、高山隊長と金山泰明副隊長の二人を労務係助手として採用した。六十人のうち半数が妻帯者で、後はみんな独身者だった。

三十代、四十代が殆どで、五十代が五、六いた。

舎監の伊藤秋蔵は、彼らに会って話を聞くと、一九四〇年に濟州島から樺太に強制連行されて以来、一度も帰国したことがないと不満をこぼした。

若い李柱鶴が最も「めだたのは、実は炭住内の男女関係だった。夫がいないのに妊娠して、それが噂となってばつと広がることもあった。風紀紊乱が太平地域を揺がし始め、炭鉱としては放っておれなくなった。再々労務担当者会議を開いて、対策を講じることになった。

町内会や隣組を通じて李柱鶴のところへ情報が入るが、男女の仲というものは分からないもので、確証がない限り労務係も立ち入ることはできない。

「主人が九州の炭鉱に行って、石炭増産をして働いているのに、変な噂を立てられることは問題だ。自重してくれないと困るではないか。何時、主人が帰って来るか分からないんだ」と、彼は注意する程度に終わった。

堕胎技術も避妊具もなかった当時のこと、私生児が何人も生まれた。太平炭鉱におれなくなって、何時のまにか遠いところへ逃避行する者もあった。

労務課では対策を講じて、産業会館で娯楽映画会を開催した。それも一時の気安めとなったが、効果は上がらないまま、男女問題は黙認せざるをえなくなった。

宗谷海峡が封鎖になって内地と遮断されても、樺太の米の保有量は二年は大丈夫といわれた。だが塩や砂糖、しょう油類が品不足となった。トラックで海水を運び、大きい釜に入れて石炭を燃やして塩をつくり、それを各家庭に配給した。

配転された夫たちからの仕送りがないと生活ができないので、給料の一部を送るように行き先の炭鉱と交渉した。



古賀訓練所の舎監だった伊藤秋蔵

いらんことをする職員ということで、まもなく坑内係として配転させられた。

福岡県嘉穂郡碓井町にあった明治炭業所平山炭鉱の「変災報告書」を見てみると、樺太の白鳥沢炭鉱からの転換坑夫が、落盤事故で一週間に三人続いて事故死した記録が見つかった。

一方、夫たちが配転された後の家族は、どういう生活をしていたのであろうか。

幹部をはじめ坑夫の大部分が配転した後、炭鉱には保安係と労務係の一部が残った。

藤原銀次郎が、「無尽蔵の貯炭場」と豪語した、太平炭鉱の露天掘り跡は広がった。それと海岸に山積みされた貯炭場が自然発火して、黒煙が空を覆った。

留守家族は、朝鮮人ばかりでなく、日本人もたくさんいた。それを管理するための労務係が不足した。

李柱鶴は、東京外語英語科在学中に徴兵検査を受け、一時、天内の家族のところに戻って来た。その時、太平炭鉱の小労務課長が訪ねて来て、労務課に朝鮮語を話せる者がいないから、来てくれと誘われた。炭鉱側として、炭住に残された朝鮮人家族の労務管理に手を焼いていたのは、炭住の修理、大工の斡旋、食糧の配給、病人の治療などの生活上の世話があった。

戦後、三井山野鉱業所から帰国。樺太からの妻子の帰国を待っていた。連絡はとれず、朝鮮動乱で中断、それ以後お互いに生死が分からないまま金義鎮は韓国で再婚した。男四人、女一人の子宝に恵まれ、安定した生活をしている。それを聞いてはじめて、家に連れて行かなかった理由を知った。

顔に刻み込まれた幾筋もの深いシワに、金義鎮の人生の縮図を見るようだった。

日本語の発音に訛りはあるが、北海道の小樽と樺太の小学校に通学しただけあって、吉田松陰のことになると熱心だった。

「今まで長い間、妻と子を放っておいて、合わせる顔もありませんたい。サハリンから帰るために、新しい家を買って待っておりまして。」

女房と連絡がついて、息子はハバロスクで衣類の商売をしているそうです。

こつちにも家庭があつて、その板挟みで頭が痛いです。これも私が勝手にしたことじゃない。日本政府の責任です。」

彼の口から、突然筑豊弁が出て来たので私は驚いた。十九歳の時に柳南洙(69歳)と結婚して、翌年、長男の公浩(51歳)が生まれ、続いて二女の父親になった。家族四人を西樺丹炭鉱に置いて、三井山野鉱業所漆生炭鉱に配転された。

「子供たちの顔も、今会っても分からないでしょう。別れてから四十年以上になりますから、子供たちも私の顔が分からないと思います。悲しいことですよ。」

日本政府の石炭政策のまずさから、残された留守家族は止むをえず、全く別の人生を歩まざるをえなくなった。

(2) 二人妻

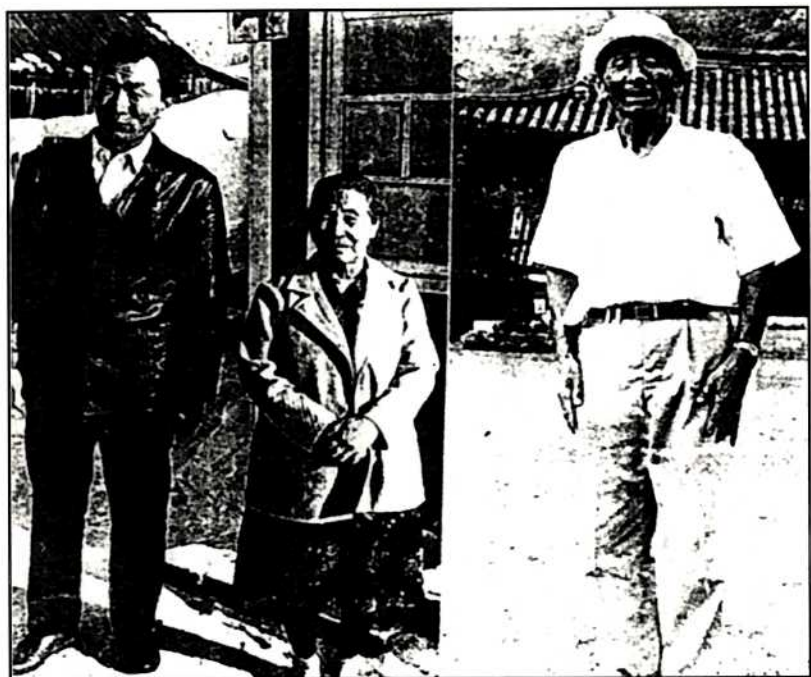
一九八九年六月、韓国の大邱にある中蘇離散家族会(李斗勲会長)を訪ねた北九州市小倉北区の加藤慶二から、樺太転換坑夫で三井山野鉱業所漆生炭鉱へ行った金義鎮(71歳)のことを知った。夫が樺太へ強制連行されて、韓国に残された妻たちとは全く別のケースだ。樺太から筑豊へ再徴用をかけた話は、私にとってははじめてのことだ驚きだった。

金義鎮が、全羅北道井邑郡泰仁面に住んでいることを聞いて私は十月に訪ねて行った。彼の故郷は慶尚北道で、戦後、帰国してから、叔父を頼って全羅北道へ移った。

泰仁面で約二ヘクタールの田圃を営みながら、精米所も持っている。家に行きたいと頼んだが、女房と子供がいるので、サハリンの話はしたくないといった。

農家かと思われるところで食事。だが、そこは部落唯一の食堂だった。テーブルの上には数種類の皿が並んだが、近くに牛小屋があるのか、ご飯の上に真っ黒に蠅が群がった。

焼酎の「真露」を傾けながら、金義鎮はこれまでの苦勞を私に語り始めた。



サハリンの妻子(左)と金義鎭(右)

金義鎭は、二人の妻子家族のことをしきりに気にした。親の責任が果たせなかったサハリンの子供たちへのつらい思いもある。親が子を思う気持ち、子が親を思う気持ちは、世界中誰でも同じこと。金義鎭の胸の中は、サハリンに残して来た妻子が、韓国に帰ることで大きく揺れ動くのだった。

戦後、一度だけではあるが、サハリンの妻から手紙が届いたことがある。その手紙には、ほかの夫たちが密航して家族を迎えに来ているのに、貴方は何故来ないのか。それはあまりにも薄情だと思ふ。二人の子供たちを抱えて、これから先どうして生活したらいいのか、露頭に迷っている

るといふ内容だった。

金義鎭は戦後、樺太に家族を迎えに行こうと思わなかったわけではない。密航して樺太に行くが、それとも朝鮮に帰国するか迷った。家族は必ず朝鮮に帰って来るものと彼は信じていたので、慶尚北道の故郷で待つことにした。

解放後、三井鉱業所漆生炭鉱の労務係は、朝鮮人の報復を恐れて逃げ出し、帰国旅費と貯金の払い戻しが行われたのは、カ月前であった。わずかに四百五十円のみでは、北海道まで行って樺太に密航するには、あまりにも少ない金であった。仲間の何人かは、炭鉱幹部に付して樺太まで帰せと迫った。炭鉱側は、ソ連軍から引揚船の運航を停止させられたので樺太まで行くことはできないと説明したので、迎えに行くのをあきらめざるをえない事情があった。

金義鎭の父親は、彼が生まれるとすぐ北海道に出稼ぎに行った。父親の後を追って、母子は北海道の小樽へ渡り、そこから樺太の名好炭鉱へ移った。十六歳になると、太平洋炭鉱の技術の機械方として入った。名好炭鉱で働いて、友人と一緒に西樺丹の炭鉱に移った。

一九四四年九月、一部の坑夫は東海岸の内淵炭鉱に配転が決まったが、金義鎭は福岡県筑豊の三井山野鉱業所漆生炭鉱へ徴用された。それはあまりにも急な命令で、将来のことは全く考える余裕はなかった。九州の炭鉱で石炭を掘って、すぐ北九州の工業地帯へ送るからという説明しかなかった。

「戦争に勝つたらすぐ家族を送るといふし、女房もそれを信じて、内地へ行けると思っているからね。僕が先に行くことについてはいっさい心配はしませんでした」

束した。サハリンに出る直前になって、親子はユジノサハリンスクに転居した。一九九〇年一月、ユジノサハリンスクの郊外の家に親子を訪ねた。

私は全羅南道で金義鎮に会った時に撮影した写真を、十数枚柳南湫に渡した。「これは貴女のご主人ですよ。この前会って来たばかりです」

すると柳南湫は、人違いだといって写真を投げ出した。髪は白く、顔のシワは大きく、二十代で別れた夫のイメージとは、全くかけ離れていたからだ。二人の間には、四十数年の月日が流れている。ちよつと見て分からないのは当然であった。

私は金義鎮の写真を手にとると、息子の金公浩の顔の側に並べた。

「親子だから似ているでしょう」といった。

それでもしばらくは信じられないようで頭を傾げた。

私はその日ほど、韓国とサハリンの遠い距離と歴史の空間を感じたことはなかった。お互い老人となつて、その変わり方に夫であることさえ分からなくなっている現実に心が痛んだ。

「主人と一緒に九州の炭鉱に行った人が、密航してサハリンに家族を迎えに来ました。主人からのことづつで、できるだけ早く帰国してくれ、自分は故郷で待っているからとね。九州に行く時は、すぐ帰って来るというから、家族はそう思いますよ。まさか四十数年も離れ離れになろうとは、それは神様だつて分からない。何もかもが過ぎた。子供を育てるのにどれだけ苦労したか、その話だけでも主人から聞いてもらわないと、腹の虫が治まりません」

三井山野鉱業所産炭鉱には、独身の朝鮮人寮があつて、樺太から家族が来た場合には世帯持ちの炭住に住まわせると約束した。両親は名好炭鉱で働いていたので、それが最後の別れとなった。

恵須取港に集まった千人の坑夫は、連絡船で稚内へ渡って三百人は夕張炭鉱へ行き、金義鎮は十日後に筑豊に着いた。

西樺丹に比べると筑豊は食糧事情が悪く、着いた日に早くも集団で抗議した。さらに家族を呼び寄せないと働かないと強く要求した。炭鉱側はあわてて手続きを取り、十数家族だけが年内に筑豊へやって来た。金義鎮は、家族を呼んでも食糧に困るので、両親がいる樺太に置くことを決めた。

入坑前の練込場では、軍艦マーチをかけて、坑長は日本軍の勝利だけを宣伝した。休日には朝から真珠湾攻撃と、シンガポール陥落のニュース映画を繰り返しみんなに見せた。

金義鎮は、最後まで日本の勝利を信じて戦争に勝ったら家族を呼んでもらえると疑わなかった。八・一五の解放の日、ラジオで天皇陛下の放送を聞くと、口惜しくて涙を流した。

一カ月後に帰国の船便が手配された時、はじめて解放の喜びにひたつた。だが、樺太に残した家族はどうなるのか、金義鎮は最後まで帰国をためらつた。やつと決心して、朝鮮の故郷で待つことにした。

金義鎮はいよいよ帰郷の時、樺太の妻に手紙を出した。これから三年間連絡がない。子供をよく育てて、良い人になったら結婚しなさいという内容の手紙をしたためた。

私は金義鎮と会つて、サハリンに近いうちに行くので、ハバロフスクにいる妻と子に会って来ると約

三井田川鉱業所は、月か出た出たりが言た、三井炭鉱の上に出た……」の炭鉱節で有名なところで、わが家から八キロの地点である。
その人は大邱市の鄭聖胎(64歳)で、韓国陸軍の憲兵だったといい、色が浅黒くがっちりした体格をしていた。

父親は慶尚北道義城郡安平面(現慶尚北道義城郡)で農業をしていた。一九三九年二月、募集に応じて樺太の西柵丹の三井鉱業所に働きに行った。二年契約だったが手紙が来て、期間延長されたことが分かった。

子供三人が小さくて母親は仕事ができないので、樺太へ渡りたいと手紙で知らせた。十六歳になった鄭聖胎も、父親と一緒に働きたいといい出した。田畑は祖父に頼み、樺太から募集に来ていた労務係に連れられて行くことになった。

一九四二年二月、朝鮮を出発して、二十三日かかって吹雪の西柵丹に着いた。

西柵丹炭鉱の朝鮮人寮には三百人、世帯持ちが五十組働いていた。

父親は、炭鉱の採炭は危険だから、別の仕事をしろと反対した。体が人一倍大きかった鄭聖胎は、坑外の鍛冶工として働くことになった。

ドリルの穂先とか鶴嘴を焼き直す仕事で、給料を七十円もらった。十二時間働いて帰ると、毎夜八時から十時まで、佐藤という予備役の軍曹から軍事教練を受けた。炭鉱のグラウンドに集合すると竹槍を持って、米英撃滅、蒋介石殺せ!と、大声を上げてワラ人形を突き刺した。

国境の五十度線に近い西柵丹は、冬になると零下五十度以下に下がり、毎日激しい吹雪が続いた。

といいながら、彼女は激しく泣き出した。

韓国の夫に別の妻がいることを知った柳南洙だが、彼女にも二十五年前に再婚した夫の韓景作がいた。

当時、五歳だった金公浩は、父の面影は全く記憶にないといった。

「小さい時は父のことを恨みました。もう過去のことはいいたくありません。父が自分からやったのじゃなくて、戦争のために親子が離れ離れにされて、これは父の責任じゃありません。今は父を許してやりたい気持ちです」

金公浩の感じや話し方は、父親にそっくりだった。彼はハバロスクで個人農業をしていたが、現在はユジノサハリンスクで建築の仕事をしている。韓国へ行って父親と一緒に暮らす希望を持っているが、ソ連で教育を受けた彼にはロシア語しか話せない。韓国へ永住帰国したとしても言葉の障害が立ちはだかっているのだった。

(3) 親子連れ

中蘇離散家族会で、金義鎮の長男の一人、加国のことを話していると、親子で樺太転換坑夫になり、筑豊の三井田川鉱業所に配転された人がいると聞いた。



親子連れ（樺太へ行く前）

父親（上）と鄭聖胎

家族だけが、急に西樺丹を出発したと書かれていた。その家族たちは、敗戦の二日後に三井田川鉱業所に着いた。

弟の手紙には、母親と子供だけで心細いから、九州の炭鉱へ行きたいと書いてあった。父親が労務課に行つて交渉したところ、戦況が悪化して無理だから、しばらく待つように樺太に返事を書けといわれた。

炭鉱が軍需工場に指定されると、憲兵と特高が労務管理にまで口出しをして、寮に来ては休んでいる者を引きずり出した。労務事務所の前で怠けるなどといって殴る蹴るの暴行を加えた。

「肺炎や風邪は病気のうらじやな

方向を見失わないために、雪穴を開けてロープを渡し、それを伝つて通勤した。

親子が発発する時、母親は出産したばかりで産後の肥立ちが悪く、まだ床に伏していた。

一九四四年九月十日、夜明け前の五時に西樺丹をトラックで出発して、五時間後に恵須取港に着いた。港で一日船待ちすると、親子たち百人は貨物船で函館に着いた。

函館から青函連絡船に乗船すると、一週間後に福岡県田川市後藤寺にある第一坑朝鮮人寮に落ち着いた。

父親は入坑して採炭、鄭聖胎は両（炭車）を上げ降ろしする機械方の巻揚げに回された。父親とは勤務にズレはあったが、同じ寮ということで心強かったという。十六歳といえば体は大きくてもまだ子供、家族が恋しい年頃である。そのうち職場を第三坑の平原坑に回された。

当然、寮も第三坑半原寮に変わらなければならない。

「父と一緒にないと嫌だ。第一坑へ戻してくれ泣きながら労務係に頼んだ。

「男の子がめそめそするな。お前は何歳だ？」

「十六歳です」

「お前、それで十六歳か？ ずう体だけは大いいのう。よし仕方がなか」

その労務係はぶつぶついいながら、鄭聖胎の願いを聞いてくれた。

八・一五の直前、三歳下の弟から手紙が来た。二人が九州へ出発した後、朝鮮へ帰国を希望した十

昭和十九年十二月二十一日

香典帳

施主 松本世煜

い、皆折るか片手がなくなつてはじめて病人だ」といって強引に入坑させた。

大出し目といわれる二十四時間労働が続いたり、事故があつたりすると必ず何人かが逃走した。交番の要所に監視人が出たり、警察が見張りしているので、土地勘のない朝鮮人はすぐ捕まつて連れ戻された。みんなの前で見せしめのための拷問が行われ、鄭聖胎の目の前で二人が殴り殺された。彼はこの虐殺のすさまじさに戸倒され、今でも拷問の姿が焼きついて離れないという。

八・一五当日の記憶はないというが、三日後に父親たちは労務係の世話で、樺太までの切符を手に入れた。

「俺は母さんたちを迎えに行つて来るから、お前は先に朝鮮へ帰つてじいちゃんたちの面倒を見てやれ、もし元気でおれば必ず樺太から家族を連れて帰るから」

父親は、十数人の仲間と一緒に樺太へ出発した。それ以後、果たして樺太へ着いたのか、鄭聖胎には分からなかった。

十月三日、労務係からの連絡で山口県仙崎からの開船をチャーターしたから行けといつて来た。一人百五十円を支払った。

七十トンのトロール船に四十三人が乗り、朝鮮海峡を木葉のように揺られ、十六時間をかけて慶尚南道の三千浦港に着いた。

祖父母たちは、一人一人、精肉した孫を手離して喜んだ。

朝鮮動乱で故郷は、一になり、鄭聖胎は軍隊に志願して志兵となった。

サハリンから連絡が来たのは、一九七五年、父親と別れてから三十年振りのことだった。日本の偉大婦運促進会長村魯学苑に弟から来た手紙で、鄭聖胎という兄がいるから探してくれと書かれていた。兄弟が生きている驚きと、自分を探していることの感激で手紙を握りしめて涙が溢れた。

日本を経由してサハリンへ手紙を出す、再び弟から手紙が来て、父親の消息が書かれていた。三井田川鉱業所を出発すると青森まで来て、そこから密航船に乗ったが台風のために失敗した。上方をくまなく金をつくり、それを元手に賭博で儲け、焼き大豆を三升と水を持って再び密航船に乗船した。田川を出発して、カ月と十六日かかって、やっと西欄丹の家族と再会したというのだ。

手紙には「兄貴の知らない弟たちが三人いるよ」と、書かれていた。それは父親がサハリンに帰つてから生まれた兄弟たちのことであった。父親は一九六六年に西欄丹で亡くなつてた。

殉職

於

昭和十九年十二月三日

福岡県嘉穂郡桂川町

明治鋳業株式會社

平山鋳業所

葬儀

樽大惠須取部塔路所

第2大平鋳業所管理部葬

昭和二十年二月二十日午時

於職負俱樂部

葬儀委員長 管理部長 保利啓吉

樺太韓人二重徴用鋳夫及遺家族の名簿

1	豊畑炭鋳	鋳夫 19人	遺家族 47
2	西柵丹炭鋳	鋳夫 25	遺家族 56
3	北小澤炭鋳	鋳夫 17	遺家族 34
4	太平炭鋳	鋳夫 9	遺家族 20
5	名好~増田炭鋳	鋳夫 11	遺家族 25
6	塔路, 上塔路, 白鳥炭	37	遺家族 94
7	合計	99	276

在サハリン平 韓人二重徴用鋳夫 遺家族

YUZHNO-SAKHALINSK 2002年
유가족회 회장 서 정길
사무장 정 태식

サハリン州 二重徴用鉱夫 被害者及び遺家族名簿

番号	徴用鉱夫被害者本人				被徴用鉱夫の遺家族								
	姓名(韓)	姓名(和)	生年月日	生死	徴用地名	被徴用地名	姓名(韓)	姓名(口)	職故	出生年	現住所	電話	
1	ㄱ 42.5.13	安田	1907	死	豊畑	山一	1.	안명복	AN MEN BOK	長男	1933	Южно-Сахалинск	55-49.51
							2.	안명복	AN EH BOK	次男	1938	"	"
2	ㄴ 1.1.11	林	1908	死	豊畑	山一	3.	임태환	PHM TIE XWAN	長男	1939	Южно-Сахалинск	
							4.	임복희	PHM OK XI	長女	1940	"	"
							5.	임복희	PHM BOK XI	次女	1942	"	"
3	ㄷ 4.2.17	李	1905	死	豊畑	山一	6.	임태희	PHM TIE XI	次男	1944	"	"
							7.	여정순	E DEM SUN	妻	1924	Пуровое	79.05.02
							8.	이근하	U GHN-KA	長男	1939	"	"
4	ㄹ 8.2.16	平山	1908	死	豊畑	山一	9.	이근선	U GHN-SOH	次男	1942	"	"
							10.	신명복	SHN MEN-NAM	長女	1937	Южно-Сахалинск	72.84.54
							11.	신명근	SHN MEN-GHN	長男	1936	"	"
							12.	신복년	SHN OK. HEN	次女	1942	"	"
							13.	신상환	SHN SOH XAK	次男	1945	"	"

番号	徴用鉱夫被害者本人				被徴用鉱夫の遺家族								
	姓名(韓)	姓名(和)	生年月日	生死	徴用地名	被徴用地名	姓名(韓)	姓名(口)	職故	出生年	現住所	電話	
5	ㄱ 42.1.11	谷川	1905	死	豊畑	山一	14.	강영기	KAN EH GI	長男	1933	Южно-Сахалинск	42.50.86
6	ㄴ 42.1.17	竹田	1910	死	豊畑	山一	15.	강정애	TEH DEM E	長女	1934	Тельновск	
							16.	강정숙	TEH DEM SUK	次女	1936	"	"
7	ㄴ 1.1.11	金城	1912	死	豊畑	山一	17.	강정순	TEH DEM SUN	次女	1938	"	"
							18.	김성환	KIM OH XWAN	長男	1942	Южно-Сахалинск	72.33.59
8	ㄷ 4.3.11	須田	1907	死	豊畑	山一	19.	김기환	KIM KI XWAN	次男	1944	"	"
							20.	김문희	KIM MUN XI	妻	1922	Южно-Сахалинск	55.44.27
9	ㄹ 4.2.11	豆城	1906	死	豊畑	山一	21.	김순자	TEH SUN JA	長女	1939	"	"
							22.	김희연	TEH PIH EY	妹	1927	"	"
10	ㄹ 1.1.11	西原	1907	死	豊畑	山一	23.	조귀숙	JO DEM SUK	長女	1940	Корсаков	4.03.86
							24.	차리순	CHA XI SUN	長女	1938	"	"
							25.	차관순	CHA KAN SUN	次女	1936	"	"
							26.	차원순	CHA WON SUN	次女	1940	"	"

番号	徴用鉱夫被害者本人				被徴用鉱夫の遺家族								
	姓名(韓)	姓名(和)	生年月日	生死	徴用地名	被徴用地名	姓名(韓)	姓名(口)	職故	出生年	現住所	電話	
11.	ㄱ 42.1.17	山本	1909	死	豊畑	山一	27.	최영숙	YE EH SUK	長女	1931	Южно-Сахалинск	
							28.	최관일	YE KAN IYU	長男	1934	"	"
12.	ㄴ 4.1.11	伊東	1910	死	豊畑	山一	29.	윤성근	YUN SOK GHN	長男	1935	МАКАРОВ.	
							30.	윤성년	YUN SOK EY	次男	1938	"	"
							31.	윤성순	YUN SOK SUN	長女	1942	"	"
13	ㄴ 4.2.11	林原	1912	死	豊畑	関本	32.	임환숙	IM KAN SUK	長女	1939	ХОДМСК	
							33.	임정자	IM DEM JA	次女	1944	"	"
14.	ㄷ 4.2.11	木村	1910	死	豊畑	関本	34.	김영자	KIM EH JA	長女	1934	ХАБАРОВСК.	
							35.	김영순	KIM EH YO	長男	1937	"	"
							36.	김영복	KIM EH NAM	次男	1940	"	"

サハリン州二重徴用鉱夫遺家族会 会長 汪明福

番号	徴用鉱夫被害者本人				被徴用鉱夫の遺家族								
	姓名(韓)	姓名(和)	生年月日	生死	徴用地名	被徴用地名	姓名(韓)	姓名(口)	職故	出生年	現住所	電話	
15.	ㄷ 4.2.11	安本	1900	死	豊畑	関本	37.	권오영	KWON O EY	長男	1932	Южно-Сахалинск	
							38.	권리순	KWON HE SUN	長女	1936	"	"
16	ㄹ 4.2.11	青木	1899	死	豊畑	山一	39.	이영숙	YI EH SUK	長女	1934	ШАРТАРСК	
							40.	이영래	YI EH RA	長男	1940	"	"
							41.	이정자	YI JUN JA	次女	1938	"	"
17.	ㄱ 1.1.11	善本	1910	死	豊畑	関本	42.	강봉래	KAN BON HE	長女	1935	ДОБИНСК	
							43.	강정숙	KAN JUN SUK	次女	1937	"	"
18	ㄴ 2.1.11	青木	1908	死	豊畑	山一	44.	강대영	KAN DA EY	長男	1940	"	"
							45.	강순자	KAN SUN JA	次女	1943	"	"
19	ㄷ 4.2.11	横山	1913	死	豊畑	関本	46.	황승남	HUANG SUN NAM	長男	1939	АЕСОГОРСК	42.2.28
							47.	황수남	HUANG SU NAM	長男	1945	"	"

サハリン州 二重徴用鉱夫 被害者及び遺家族名簿

番号	徴用鉱夫被害者本人					被徴用鉱夫の遺家族							
	姓名(韓)	姓名(和)	生年月日	生死	徴用地名	被徴用地名	姓名(韓)	姓名(口)	縁故	出生年	現住所	電話	
20	チオン ホスン	大山	1903	死	西桐丹	三井山野	48	정래익	ТЕН ТХЕ СИК	次男	1932	Южно- САХАЛИНСК	77-05-84
							49	정우연	ТЕН ОК НЕН	長女	1936	.	.
21	ベ ボンタル	星山	1912	死	西桐丹	三井山野	50	김옥래	КИМ ОК ТХЕ	長女	1937	.	77-15-23
							51	김길운	КИМ КИЛУН	長男	1943	.	.
22	ファン ヘド	栗田	1918	死	西桐丹	三井山野	52	황달수	ХВАН ДАЛ СУ	長男	1932	.	77-25-84
							53	황춘희	ХВАН ЧУН ХИ	長女	1935	.	.
23	チオン ホゴン	大山	1916	死	西桐丹	三井山野	54	황성구	ХВАН СОН ГУ	次男	1944	.	.
							55	이춘자	И ЧУН АЯ	長女	1942	Пороновск	.
24	クオン スボン	權	1913	死	西桐丹	三井山野	56	김봉희	КИМ БОН ХИ	妻	1921	.	.
							57	권화자	КВОН ХВА АЯ	長女	1939	ШАХТЕРСК	.
25	イ スジン	住吉	1907	死	西桐丹	三井山野	58	권명운	КВОН МЕН СУН	次女	1940	.	.
							59	이부진	И БОК СОН	長女	1937	Пороновск	.

番号	徴用鉱夫被害者本人					被徴用鉱夫の遺家族							
	姓名(韓)	姓名(和)	生年月日	生死	徴用地名	被徴用地名	姓名(韓)	姓名(口)	縁故	出生年	現住所	電話	
26	ハ フボン	西原	1910	死	西桐丹	三井山野	60	한찬순	ХАН ЧАН СУН	長女	1936	Бошняково	.
							61	한숙기	ХАН СУК КИ	長男	1940	.	.
27	キム タムスル	金城	1915	死	西桐丹	三井山野	62	한영순	ХАН ЕН СУН	次女	1943	.	.
							63	김성호	КИМ СЕН ХО	長男	1941	ХАБАРОВСК	.
28	キム ソムン		1907	死	西桐丹	三井山野	64	김정일	КИМ АЕН ИР	長男	1941	Южно- САХАЛИНСК	.
							65	김정웅	КИМ АЕН УН	次男	1943	.	.
29	チヨ オチェル	松本	1905	死	西桐丹	三井山野	66	김금자	КИМ КЫМ АЯ	長女	1944	.	.
							67	조영래	АЕ ЕН АЕ	長男	1932	Бошняково	38-4-39
30	ソン スゲン	山本	1922	死	西桐丹	三井山野	68	조미재	АЕ РИ АЕ	次男	1937	.	.
							69	조명숙	АЕ МЕН СУК	長女	1940	.	.
							70	송정웅	СОН АЕН УН	長男	1942	.	.
							71	송유분	СОН Ю БУН	妻	1923	.	.

番号	徴用鉱夫被害者本人					被徴用鉱夫の遺家族							
	姓名(韓)	姓名(和)	生年月日	生死	徴用地名	被徴用地名	姓名(韓)	姓名(口)	縁故	出生年	現住所	電話	
31	チエ トヒウ	山田	1905	死	西桐丹	三井山野	72	최동락	ЧОЙ ОН ПАК	次男	1935	ХАБАРОВСК	.
							73	최화락	ЧОЙ ХВА ПАК	三男	1938	.	.
32	キム イ-ジン	大山	1920	生	西桐丹	三井山野	74	최설자	ЧОЙ СЕР АЯ	長女	1940	Южно- САХАЛИНСК	.
							75	양동주	Ю НОН АЮ	妻	1921	Южно- САХАЛИНСК	.
							76	김공호	КИМ ГОН ХО	長男	1940	.	.
							77	김만자	КИМ АН АЯ	長女	1943	.	.
33	キム チンメン		1913	死	西桐丹	三井山野	78	김순자	КИМ СУН АЯ	次女	1944	.	.
							79	김정환	КИМ АЕ ХВАН	長男	1941	.	.
							80	김춘자	КИМ ЧУН АЯ	長女	1938	.	.
							81	김래자	КИМ ТХЕ АЯ	次女	1944	.	.
34	ハ キスウ		1917	死	西桐丹	三井山野	82	하장래	ХА АЯН НЕ	長男	1943	Смирных	.
							83						妻

番号	徴用鉱夫被害者本人					被徴用鉱夫の遺家族							
	姓名(韓)	姓名(和)	生年月日	生死	徴用地名	被徴用地名	姓名(韓)	姓名(口)	縁故	出生年	現住所	電話	
35	イ サンチ	岩城	1913	死	西桐丹	三井山野	84	이원문	И ВОН ЛЮН	長女	1933	Луговое	.
							85	이철웅	И ЧИЛ ЕН	長男	1944	.	.
36	チヨ ゲンハン	夏山	1910	死	西桐丹	三井山野	86	조귀미	АЕ ГВИ МЕ	長女	1937	Бошняково	.
							87	조우광	АЕ МУГ ВАН	長男	1939	.	.
							88	조원래	АЕ ВОН ТХЕК	次男	1942	.	.
							89	이정우	И АЕН ОК	長男	1940	Южно- САХАЛИНСК	42-79-52
37	ソン ストク	山本	1922	生	西桐丹	三井山野	90	이래우	И ТХЕ ОК	次男	1943	.	.
							91	김민준	КИМ ИМСУН	妻	1920	.	2-15-03
38	キム マンジエン		1913	死	西桐丹	三井山野	92	김영운	КИМ ЕН ЮН	長男	1941	.	.
							93	김영철	КИМ ЕН ЧЕР	次男	1945	.	.
39	キム ヨンギン	金城	1914	死	西桐丹	三井山野	94	김홍순	КИМ АЕН СУН	長女	1938	.	.
							95	이민하	И ДИН ХА	長男	1943	.	74-30-92

番号	徴用 鉱夫 被害者 本人						被徴用 鉱夫 の 遺 家 族					
	姓名(韓)	姓名(和)	生年月日	生死	徴用地名	被徴用地名	姓名(韓)	姓名(口)	職故	出生年	現住所	電 話
41	ジョン チヌス	大島	1989	死	西桐丹	三井山野	95	정학규	ТЕН РАК ГЮ	長男	1932	ХАБАРОВСК
42	シン デボン	重光	1915	死	西桐丹	三井山野	96	정철주	ТЕН ВОЛ БО	次男	1942	ЮЖНО- САХАЛИНСК 55-60-92
43	イ スジン	住吉	1907	死	西桐丹	三井山野	97	신선용	СУН СУНУН	長男	1942	ЮЖНО- САХАЛИНСК 72-26-73
44	ジョン ヨシホム	大島	1903	無消息	西桐丹	三井山野	98	신숙자	СУН СУКАЯ	長女	1940	·
							99	이부선	И БОК СОН	長女	1937	Поронайск
							100	정려원	ТЕН ХЕ ВОН	長女	1936	·
							101	정순원	ТЕН СУН ВОН	次女	1939	·
							102	정구선	ТЕН ГЮК СЕН	長男	1944	·

サハリン州二重徴用 鉱夫 被害者及び遺家族名簿

番号	徴用 鉱夫 被害者 本人						被徴用 鉱夫 の 遺 家 族					
	姓名(韓)	姓名(和)	生年月日	生死	徴用地名	被徴用地名	姓名(韓)	姓名(口)	職故	出生年	現住所	電 話
45	ムン 달진	文秉	1900	死	北小沢	高島	103	문숙자	МУН ЧУН АЯ	長女	1930	ЮЖНО- САХАЛИНСК
							104	문정선	МУН ГЕН СЕН	長男	1931	·
							105	문명선	МУН МЕН СЕН	次男	1933	· 77-25-41
							106	문삼선	МУН САН СЕН	三男	1941	·
46	ハン マシロ	松小	1904	死	北小沢	長崎県	107	한철주	ХАН ЧЕР СУ	次男	1934	Углегорск
							108	한영수	ХАН ЕН СУ	三男	1941	·
							109	한태수	ХАН ТХЕ СУ	四男	·	·
							110	장진희	장 진희	妻	1916	·
47	イ インル	春木	1915	死	北小沢	長崎県	111	장금주	Кум КЫМАЮ	妻	1921	ЮЖНО- САХАЛИНСК
							112	이주전	И СУ СУН	長男	1942	·
							113	이혜자	И ХЕ СУН	長女	1940	·
48	ホシ タケ	洪本	1914	死	北小沢	長崎県	114	전선이	전 선이	妻	1921	ХАБАРОВСК
							115	홍부일	홍 부일	長男	1942	·

番号	徴用 鉱夫 被害者 本人						被徴用 鉱夫 の 遺 家 族					
	姓名(韓)	姓名(和)	生年月日	生死	徴用地名	被徴用地名	姓名(韓)	姓名(口)	職故	出生年	現住所	電 話
							116	홍부일	홍 부일	次男	1944	ХАБАРОВСК
49	ジョン ヨシタロ	村田	1922	死	北小沢	長崎県	117	전말순	전 말순	妹	1932	ЮЖНО- САХАЛИНСК
							118	전영길	전 영길	妻	1940	· 72-60-27
50	イ ヨンス		1918	死	北小沢	長崎県	119	이영일	이 영일	長男	1942	·
51	チヨ チムナム		1899	死	北小沢	長崎県	120	조홍식	조 홍식	次男	1945	Углегорск 2-15-64
52	ジョン タルガン	平山	1896	死	北小沢	長崎県	121	전준승	전 준승	長男	1941	Корсаков 4-07-42
53	キ スウ	川島	1917	死	北小沢	長崎県	122	하정미	하 정미	長女	1942	Смирных 4-22-29
							123	하정희	하 정희	次女	1943	·
54	イ マンロン	貞木	1895	死	北小沢	山一炭鉱	124	이주숙	이 주숙	長女	1932	ЮЖНО- САХАЛИНСК
							125	이주희	이 주희	次女	1934	·
55	アン チマン		1902	死	北小沢	長崎県	126	안부일	안 부일	長女	1934	Углегорск
							126	안금순	안 금순	次女	1936	·

番号	徴用 鉱夫 被害者 本人						被徴用 鉱夫 の 遺 家 族					
	姓名(韓)	姓名(和)	生年月日	生死	徴用地名	被徴用地名	姓名(韓)	姓名(口)	職故	出生年	現住所	電 話
							127	안희순	안 희순	三女	1938	Углегорск
56	ジョン キイシン	光山	1917	死	北小沢	長崎県	128	정추승	정 추승	長男	1940	ЮЖНО- САХАЛИНСК 74-20-54
							129	정도자	정 도자	長女	1943	·
							130	정추수	정 추수	次男	1944	·
57	チヤン ハツファン	岡田	1919	生	北小沢	長崎県	131	장서모	장 서모	長男	1941	· 20-00-1
58	イ タンスウ	皆川	1915	死	北小沢	長崎県	132	이래철	이 래철	妻	1923	· 55-02-31
59	アン オボトシ	安田	1904	死	北小沢	長崎県	133	안정자	안 정자	長女	1940	· 55-08-81
60	ベ チンファン	竹原	1922	死	北小沢	長崎県	134	배희철	배 희철	長男	1944	Болонск
61	キ ハツタロ	金城	1913	死	北小沢	長崎県	135	김래수	김 래수	次男	1944	ЮЖНО- САХАЛИНСК

サハリン州二重徴用鉱夫 被害者及び遺家族名簿

番号	徴用鉱夫被害者本人						被徴用鉱夫の遺家族					
	姓名(韓)	姓名(和)	生年月日	生死	徴用地名	被徴用地名	姓名(韓)	姓名(口)	縁故	出生年	現住所	電話
62	キム ナムベ	金本	1908	死	太平	長崎県	135 김동철	김민 벤 Чер	次男	1939	ШАХТЕРСК	52-9-43
63	ナム ジヌナム		1909	死	太平	長崎県	136 김승남	김민 순 남	長男	1938	.	.
							137 최운순	최 운 순	長女	1935	Луговое	.
							138 최순순	최 순 순	次女	1939	.	.
							139 최봉철	최 봉 철	長男	1942	.	.
64	ナム ソング	金村	1918	死	太平	.	440 서애자	서 애 자	妻	1944	Южно- САХАЛИНСК	.
65	ナム チャン		1923	死	太平	.	441 김예리	김 예 리	妻	1925	.	.
							442 김정자	김 정 자	長女	1942	.	.
							443 서명순	서 명 순	長男	1934	ШАХТЕРСК	.
66	ナム リンボン		1903	死	太平	長崎県	444 서복임	서 복 임	長女	1943	.	.

番号	徴用鉱夫被害者本人						被徴用鉱夫の遺家族					
	姓名(韓)	姓名(和)	生年月日	生死	徴用地名	被徴用地名	姓名(韓)	姓名(口)	縁故	出生年	現住所	電話
67	ナム ナムスク		1911	死	太平	長崎県	445 윤순아	윤 순 아	長男	1931	ШАХТЕРСК	.
68	オ ヒセ		1917	死	.	.	446 윤안자	윤 안 자	長女	1944	.	.
							447 오성근	오 성 근	長男	1943	.	.
69	ナム ナムスク	金谷	1903	死	太平	.	448 김준자	김 준 자	妻	1925	.	.
70	ナム シナン		1901	死	太平	長崎県	449 김영자	김 영 자	長女	1933	.	.
							448 김무은	김 무 은	長男	1937	.	.
							449 김두은	김 두 은	次男	1939	.	.
							450 최운순	최 운 순	長女	1936	.	.
							451 최순순	최 순 순	次女	1939	.	.
452 최봉철	최 봉 철	長男	1941	.	.							

サハリン州二重徴用鉱夫 被害者及び遺家族名簿

番号	徴用鉱夫被害者本人						被徴用鉱夫の遺家族					
	姓名(韓)	姓名(和)	生年月日	生死	徴用地名	被徴用地名	姓名(韓)	姓名(口)	縁故	出生年	現住所	電話
71	ナム ナムチャン	金城	1918	死	名好	福岡県	153 김명자	김 명 자	長女	1941	ШАХТЕРСК	32-1-3E
72	ナム ナムカル	金山	1908	死	名好	福岡県	154 김순기	김 순 기	長女	1935	Южно- Сахалинск	42-50-13
73	ナム ナムモ	權	1892	死	名好	.	155 김미주	김 미 주	妻	1917	Южно- Сахалинск	74-16-27
74	ナム ナムク	梁川	1909	死	.	.	156 김인터	김 인 터	長男	1933	.	.
							157 김춘자	김 춘 자	長女	1942	.	.
75	ナム ナム	松井	1904	死	.	.	158 박동진	박 동 진	長男	1932	.	.
							159 박동리	박 동 리	次男	1940	.	.
76	ナム ナム	石村	1895	死	名好	福岡県	160 박문자	박 문 자	次女	1943	.	.
							161 박영화	박 영 화	妻	1932	Углерок	.
							162 박영자	박 영 자	長女	1923	.	.
77	ナム ナム	徳井	1911	死	.	.	163 김성환	김 성 환	長男	1937	Южно- Сахалинск	55-44-27

番号	徴用鉱夫被害者本人						被徴用鉱夫の遺家族					
	姓名(韓)	姓名(和)	生年月日	生死	徴用地名	被徴用地名	姓名(韓)	姓名(口)	縁故	出生年	現住所	電話
78	ナム ナム	高山	1800	死	名好	福岡県	164 김권우	김 권 우	次男	1942	Южно- Сахалинск	55-44-27
							165 김정자	김 정 자	長女	1944	.	.
79	ナム ナム	小林	1897	死	名好	.	166 신원희	신 원 희	次男	1932	.	.
							167 신영석	신 영 석	四男	1934	.	72-76-73
							168 신재희	신 재 희	次男	1936	.	.
							169 이석호	이 석 호	次男	1933	.	46-16-18
80	ナム ナム	金野	1910	死	.	.	170 이석환	이 석 환	次男	1935	.	.
							171 이도영	이 도 영	長男	1935	.	.
81	ナム ナム	森田	1906	死	名好	福岡県	172 이정자	이 정 자	長女	1938	.	.
							173 이수영	이 수 영	次男	1944	.	.
							174 오용화	오 용 화	次男	1935	.	79-84-88
							175 오금리	오 금 리	長女	1937	Углерок	.
176 오유경	오 유 경	次女	1941	.	.							

サハリン州二重徴用鉱夫 被害者及び遺家族名簿

番号	徴用鉱夫被害者本人						被徴用鉱夫の遺家族					
	姓名(韓)	姓名(和)	生年月日	生死	徴用地名	被徴用地名	姓名(韓)	姓名(口)	縁故	出生年	現住所	電話
82	ミン オンスク	平山	1897	死	塔路	長崎県	177 신필남	СИН ГИР НАМ	次男	1938	Южно- САХАЛИНСК	
							178 신필려	СИН ГИЛ НЕ	又男	1940	"	42-02-50
							179 신필려	СИН ГИР ТЕ	四男	1941	"	
83	ム ウルソ		1905	死	塔路	"	180 김경자	КИМ ГЕН АЯ	長女	1942	"	55-18-01
							181 김기조	КИМ ГИ ГИ	長男	1936	"	
							182 김상목	КИМ САНДОК	次男	1941	"	
84	ユ ヨシシ	清水	1916	行方不明	"	"	183 안선희	АН СЕН ХИ	妻	1927	Углегорск	2-16-90
85	ム ナムチ		1926	行方不明	"	"	184 박경희	ПАК ГЕН ХИ	妻	1926	"	2-23-17
86	ム イルヒ	金山	1912	死	"	"	185 김혜순	КИМ Е СУН	長女	1940	Южно- САХАЛИНСК	77-25-84
							186 김영부	КИМ ЕН БУ	長男	1944	"	
87	チ ヒョシ		1910	行方不明	白鳥沢	福岡県	187 최서순	ЧЕ СО УН	長女	1938	Шахтерск	53-3-48
							188 최희자	ЧЕ ГЕ АЯ	三女	1943	"	
							189 최규선	ЧЕ ГЮ СЕН	長男	1944	"	

番号	徴用鉱夫被害者本人						被徴用鉱夫の遺家族					
	姓名(韓)	姓名(和)	生年月日	生死	徴用地名	被徴用地名	姓名(韓)	姓名(口)	縁故	出生年	現住所	電話
88	ム ホンスル	木下	1906	死	塔路	福岡県	190 김희자	КИМ ХВА АЯ	長女	1941	Шахтерск	
							191 김연이	КИМ ЕН И	妻	1925	"	
89	イ トサン		1905	死	塔路	福岡県	192 이병순	И БЕН СУН	次男	1944	"	
							193 이상강	И САНГОН	次女	1928	"	
							194 이병화	И БЕН ХВА	三女	1937	"	
							195 이병환	И БЕН ХВАН	次男	1941	"	
90	イ キウ	国本	1886	死	"	"	196 이현강	И ХЕН ИМ	長女	1930	Южно- Сахалинск	79-17-42
							197 이현근	И ХЕН ГЫН	長男	1925	"	
							198 이수호	И СУ ХО	次男	1935	"	
91	カン グンガ		1924	死	"	"	199 장정순	КАН ДЕН СУН	妹	1933	Углегорск	
92	カン チン길		1893	死	白鳥沢	"	200 장현우	КАН ЧЕН ОК	次男	1940	"	
							201 장정순	КАН ДЕ СУН	長女	1933	"	
							202 장만우	КАН МАН ОК	長男	1937	"	

番号	徴用鉱夫被害者本人						被徴用鉱夫の遺家族					
	姓名(韓)	姓名(和)	生年月日	生死	徴用地名	被徴用地名	姓名(韓)	姓名(口)	縁故	出生年	現住所	電話
93	ム チウ	金山	1919	死	白鳥沢	福岡県	203 김영길	КИМ ЕН ГИР	長男	1941	Южно- Сахалинск	42-50-41
							204 김영부	КИМ ЕН БУ	次男	1944	"	
94	ベ モシ	建城	1896	死	白鳥沢	"	205 배필수	베 КИЛ СУ	長男	1941	Шахтерск	53-5-62
							206 배부운	베 МУ УН	次男	1942	"	
95	イ テヒ		1904	"	塔路	長崎県	207 이기창	И ГИ ЧАН	三男	1941	"	32-1-58
							208 이득창	И ОК ЧАН	長女	1933	"	
							209 이동창	И ДОН ЧАН	次男	1937	"	
96	ム イル	豊原	1909	"	"	"	210 조남연	조 НОМЕН	三女	1935	Южно- Сахалинск	72-95-87
							211 조남용	조 НОМ УН	長男	1937	"	
							212 조남철	조 НОМ БОЛ	長女	1930	"	
							213 조미자	조 МУ АЯ	三女	1944	"	
97	ム ヨシ	金岡	1912	"	"	"	214 조복순	조 БОК СУН	妻	1916	Шахтерск	32-2-20

番号	徴用鉱夫被害者本人						被徴用鉱夫の遺家族					
	姓名(韓)	姓名(和)	生年月日	生死	徴用地名	被徴用地名	姓名(韓)	姓名(口)	縁故	出生年	現住所	電話
98	イ カフク		1907	死	塔路	長崎県	215 이우길	И У ГИР	長男	1944	Шахтерск	52-7-78
99	ム チン	金山	1916	死	"	"	216 김영호	КИМ ЕН ХО	長男	1941	Южно- Сахалинск	90-5-95
							217 김운자	КИМ ЧУН АЯ	次女	1943	"	
							218 김득순	КИМ ДОКСУН	妻	1923	"	
100	ム チン		1917	死	"	"	219 김근자	КИМ ГУН АЯ	長女	1944	Углегорск	2-02-04
							220 이선예	И СЕН Е	妻	1920	"	
101	フ トサム	平海	1909	死	"	"	221 황순미	ХВОН СУН НЕ	長女	1933	Южно- Сахалинск	77-05-87
							222 황달순	ХВАН ДАЛ АЮН	長男	1932	"	
							223 황순부	ХВАН СУН БОК	次女	1936	"	
							224 황순자	ХВОН СУН АЯ	三女	1942	"	
102	ソ チシ	大連	1909	死	"	"	225 서재만	서 ДЕ МАН	三子	1932	"	55-69-92
							226 서조자	서 ДЕ АЯ	長女	1943	"	
103	ム チン	金本	1917	行方不明	"	長崎県	227 최임학	최 ИМ ХАК	長男	1945	"	

番号	徴用 鉱夫 被害者 本人						被徴用 鉱夫 の 遺 家 族					
	姓名(韓)	姓名(和)	生年月日	生死	徴用地名	被徴用地名	姓名(韓)	姓名(口)	縁故	出生年	現住所	電 話
							228	석정숙	妻	1925	Южно-Сахалинск	
104	김오신		1903	死	塔路	長崎県	249	김석운	次男	1941	Шахтерск	
							230	김석영	長男	1936	"	
105	김반향		1904	死	"	"	231	김원진	次男	1941	"	52-6-50
							232	김지영	次女	1932	"	
							233	현기영	三女	1935	"	
106	김진민		1905	死	"	"	234	전재호	次男	1932	"	53-3-48
							235	전재성	長男	1928	"	
							236	전영자	長女	1934	"	
107	김반산	星山	1910	死	"	"	237	전귀옥	長男	1937	Луговое	79-97-80
							238	전두만	次男	1938	"	
							239	전복암	長女	1940	"	
							240	전철남	三男	1944	"	

番号	徴用 鉱夫 被害者 本人						被徴用 鉱夫 の 遺 家 族					
	姓名(韓)	姓名(和)	生年月日	生死	徴用地名	被徴用地名	姓名(韓)	姓名(口)	縁故	出生年	現住所	電 話
108	김본진	金本	1907	死	塔路	長崎県	241	김석운	次男	1944	Шахтерск	32-9-53
							242	김석공	長男	1939	"	
							243	김석란	長女	1943	"	
109	김성진	平松	1901	行方不明	"	"	244	황순옥	長女	1938	Луговое	79-01-51
							245	황순자	次女	1943	"	
							246	황미천	次男	1945	"	79-01-51
110	김우	中村	1929	行方不明	"	"	247	김남순	妹	1932	Южно-Сахалинск	55-98-91
							248	김봉호	三男	1937	"	
							249	김상호	四男	1941	"	
							250	김본래	妹	1934	"	
111	김진		1905	行方不明	"	"	251	서권필	長男	1944	Южно-Сахалинск	71-25-17
							252	서금순	長女	1938	"	
							253	서영순	次女	1941	"	

番号	徴用 鉱夫 被害者 本人						被徴用 鉱夫 の 遺 家 族					
	姓名(韓)	姓名(和)	生年月日	生死	徴用地名	被徴用地名	姓名(韓)	姓名(口)	縁故	出生年	現住所	電 話
112	김민환		1905	死	塔路	長崎県	254	장병환	長男	1935	Шахтерск	53-2-51
							255	장복돌	次男	1938	"	
							256	장병철	三男	1943	"	
113	김본	国本	1920	行方不明	"	"	257	로광자	長女	1945	"	52-5-35
114	김촌	平村	1908	死	"	"	258	원기연	長女	1935	Южно-Сахалинск	
							259	황광자	次女	1945	"	
115	김원	金原	1910	死	"	"	260	김중화	次男	1944	"	42-76-54
							261	김영식	長男	1932	"	
							262	김영숙	長女	1938	"	
116	김진호	西原	1916	死	塔路	"	263	정용진	長男	1943	Шахтерск	
117	김안	金村	1896	死	白鳥沢	福岡県	264	김종택	三男	1934	"	52-3-11
							265	이기연	長女	1933	"	
							266	김홍자	次女	1939	"	

番号	徴用 鉱夫 被害者 本人						被徴用 鉱夫 の 遺 家 族					
	姓名(韓)	姓名(和)	生年月日	生死	徴用地名	被徴用地名	姓名(韓)	姓名(口)	縁故	出生年	現住所	電 話
							241	김민환	四男	1942	Шахтерск	52-3-11
							242	김종익	三男	1944	"	
118	김본	松本	1905	死	白鳥沢	福岡県	243	오세옥	長男	1929	Шахтерск	53-8-37
							244	오복숙	次女	1935	"	

г. Южно-Сахалинск

30 ноября 2001 г.

МЕМОРАНДУМ

Мы, участники митинга представителей корейского народа-жертв японского милитаризма в годы Второй мировой войны, обращаемся к правительству Японии с меморандумом следующего содержания:

Прошло более полувека после того, как отгремели залпы Второй мировой войны, закончившейся поражением Японии, но наши души и сердца до сих пор содрогаются при воспоминании о содеянных ею злодеяниях. Предвидя свою близкую гибель, японская военщина совершила акт геноцида в отношении корейцев, завезенных в качестве рабочей силы для нужд колонизации. Карафуто (Южный Сахалин). Под видом гуманных принципов, большая группа сахалинских корейцев была навсегда разлучена с семьями и депортирована в южные префектуры Японии для работы на шахтах в целях обеспечения углем военных баз и подъема военной промышленности.

«Почетные бойцы тыла» - так называла официальная японская пропаганда новый отряд патриотов во имя победы императора. Но завезенные на чужбину под ружейным конвоем, они были брошены как ударная рабочая сила на угольные рудники. Подневольный, выше человеческих сил, буквально кровавый каторжный труд, физические истязания и бесчинства, горе и страдания оставленных семей, вот что стало наградой для «почетных бойцов тыла». Угольные префектуры Японии стали последним пристанищем для депортированных с Южного Сахалина корейцев на их трагическом жизненном пути в среду колониальных изгнанников, пополнивших число жертв Японского милитаризма.

Перед лицом многострадальных сахалинских корейцев мы обращаемся к Японскому правительству с требованиями:

1. Признать на государственном уровне и официально осудить акт геноцида в отношении корейцев, насильственно вывезенных в 1944 году с Южного Сахалина на Японские угольные рудники.
2. Предать общественной огласке список вывезенных корейцев и выплатить оставшимся их семьям компенсации в порядке причиненного ущерба.
3. В память о жертвах, подвергшихся организованному геноциду, насильно вывезенных из своей страны корейцев установить памятный мемориал.
4. Открыть маршруты памяти отцов по местам, где они работали на благо Японии.
5. Детей, родившихся по 15.08.1945 года считать полноправными наследниками отцов дважды подвергшихся принудительной мобилизации.
6. По усмотрению пострадавшего разрешить выезд на родину с детьми и построить дом (собственный) или квартиру в срок до 2003 года.
7. Предусмотреть на каждого их переезжающих на историческую родину обеспечение жильем с правом собственности и пожизненное бесплатное медицинское обслуживание.
8. Для остающихся на Сахалине и в России требуем выплатить компенсацию на каждого члена семьи.

Мы обращаемся также к японскому народу, международному Красному кресту с надеждой, что наш возмущенный призывный голос будет услышан и мы сможем узнать историческую правду о судьбе отцов и дедов - жертв японского милитаризма.



Председатель Совета

Blasijung СО ДИН ГИР

«Общественная организация дважды мобилизованных
корейских семей шахтеров»
"Public organization of twice mobilized Korean miners' families"

TO: Ministry of Foreign Affairs
ATTN: Ms. Yoriko Kawaguchi
TO: Chairman of Parliament
Mr. T. Vatanuki
TO: Red Cross- Mr. Fujimori Shoichi
CC: general Consul of Yuzhno-Sakhalinsk
Mr. Y. Kuroda

Yuzhno - Sakhalinsk
51 Karl Marx Street,
Room # 210
Tel/fax: (4242) 72-56-34
Fax: 7-509-85-6-20-42
HP 64 200.2
HP 61-22

Прошло более полувека после того как отгремели залпы Второй мировой войны, развязанной японскими милитаристами, но наши души и сердца до сих пор содрогаются при воспоминании содеянных ими злодеяний. Предвидя свою близкую гибель, японская военщина совершила акт геноцида в отношении корейцев, завезенных в качестве рабочей силы для нужд колонизации Карафуто (Южный Сахалин). Под видом гуманных принципов большая группа сахалинских корейцев была навсегда разлучена с семьями и депортирована в южные префектуры Японии для работы на шахтах с целью обеспечения углем военных баз и подъема военной промышленности. Семьи были оставлены без средств к существованию, хотя было решение правительства Японии об оказании денежной помощи (подтверждающие документы 10 листов прилагаем). В настоящее время потомков дважды мобилизованных корейских семей шахтеров, родившихся до 15.08.1945 г. насчитывается около 300 человек. Возраст некоторых престарелых жен около 80 лет, но они до сих пор ждут своих мужей.

«Почетные бойцы тыла» - так называла официальная японская пропаганда новый отряд патриотов во имя победы императора. Но завезенные на чужбину под ружейным конвоем, они были брошены как ударная рабочая сила на угольные рудники. Подневольный, выше человеческих сил, буквально кровавый каторжный труд, физические истязания и бесчинства, горе и страдания оставленных семей, вот что стало наградой для «почетных бойцов тыла». Угольные префектуры Японии стали последним пристанищем для депортированных с Южного Сахалина корейцев на их трагическом жизненном пути в среду колониальных изгнанников, пополнивших число жертв Японского милитаризма.

Перед лицом многострадальных Сахалинских корейцев Общественная организация дважды мобилизованных корейских семей шахтеров требует организовать за счет правительства и шахтерских компаний Японии следующие мероприятия:

1. организовать поездку по местам, где работали наши отцы на благо Японии.
 - 1.1 найти могилы и провести поминки
 - 1.2 посетить музей шахтеров
 - 1.3 познакомиться с членами семей, которые работали на этих шахтах и наладить дружественные отношения.
2. В память о жертвах, подвергшихся организованному геноциду, насильно вывезенных из своей страны корейцев, установить памятный мемориал на Сахалине в г. Шахтерске (Торо)
3. Оказать материальную помощь инвалидам и престарелым членам семей шахтеров, принудительно вывезенных в Японию.



Председатель Совета общественной
Организации дважды мобилизованных
корейских семей шахтеров

CO ДИН ГИР

편집후기

안녕하십니까?

제가 이 책을 만들려고 자료를 모아서 정리하여 발간을 하긴 하였으나, 아직도 부족한 점이 많습니다.

이 책을 만들다가 보니 러시아어도 나오고, 일본어도 나오고, 한국어도 나옵니다. 저는 될 수 있는 한 한국어로 만들려고 노력은 했으나, 일본 및 러시아의 자료들을 삽입하다가 보니 많은 페이지가 일본어로 되어있습니다. 그것은 일본에 의하여 벌어진 일이다 보니 일본측의 자료를 많이 삽입하여 그들의 부당함을 알리고자 함이지 다른 뜻은 없습니다.

그리고 제가 이제 2번째 사할린주 한인 이증징용광부 유가족회보를 만들면서 이제는 힘없고, 경제적 여유도 없는 우리 사단법인 사할린주 한인 이증징용광부 유가족회가 한국정부, 일본정부 및 일본회사들을 상대로 하기에는 많은 어려움이 있다는 것을 깨닫고 여러분들께 이 책을 바칩니다.

모든 행정의 업무만으로도 골치가 아프신 대통령 각하.

많은 입법 업무와 대외 업무로 많이 바쁘신 국회의장님.

대북 업무와 해외 적십자 업무로 많이 바쁘신 한국 적십자 총재님.

너무나 바쁘신 여러분들께 제가 도움은 주지 못할 망정 우리 사할린주의 한인 문제로 더 바쁘게 해서 죄송하지만, 오죽하면 제가 여러 선생님들에게 이렇게 책으로 만들어서 하소연을 하겠습니까?

저희들은 잘 모릅니다. 한국정부와 일본정부간에 근대에 와서 무슨 일이 있었는지, 어떻게 우리의 산적한 문제들을 풀어줄 것인지... 그러나 우리는 절박하게 느끼고 있습니다.

우리가 가야할 길은 한국으로 가는 것이고, 우리가 살아갈 길은 일본에서 우리의 남편이, 형님이 일했던 것만큼 우리에게 보상을 해주어야 한다는 것입니다.

그래야 머나먼 타국에서 이제껏 고국을 그리워하며 고생만 하고 살아 왔던 지난 세월을 정리하고, 이제는 귀국하여 얼마 남지 않은 여생을 고국에서 살고 싶습니다.

이제는 그런 분들도 몇 분 살아 계시지 않습니다.

세월이 벌써 57년이라는 어둡고 긴 터널 속에서 우리를 가두었기 때문입니다.

더 시간이 흐르기 전에, 살아계시는 분이 한 분이라도 더 계시는 때, 저는 이분들의 문제가 해결되어야 된다고 생각합니다.

그래서 제가 이 회의 회장으로써 이 책을 만들게 되었습니다.

부디 이 책을 여러분들이 보시고, 많은 분들이 저희 회에 관심을 가져주시기를 간절히 바랍니다.

그래야만 저희들도 고국 땅에서 한 번 살아볼 날이 생기지 않겠습니까?

많은 협조를 부탁드립니다.

이 책을 만드는데 많은 수고를 해 준 주식회사 지티아이에 대해서도 진심으로 감사를 드립니다.

사단법인 사할린주 한인이증징용광부유가족회

회장서정길

RUSSIA 693000 SAKHALINSKAYA OBLASCH
YUZHNO-SAKHALINSK Str. N=51 KARL MARX
TEL : (4242) 72-56-34
FAX : 7-509-85-6-20-42

제 작: 고레망
부산시 중구 대청동 3가 14번지
전화 : (051)245-2983
팩스 : (051)247-2575

협찬 : 주식회사 지티아이 김석곤 사장
부산시 서구 암남동 255-1번지 송도 탐스빌 32층
전화 : (051)256-0187
팩스 : (051)256-0191